

地球温暖化対策報告書作成ハンドブック

第5章 地球温暖化対策メニュー編

【平成28年3月改定版】

目 次

第 5 章	地球温暖化対策メニュー編	1
5.1	地球温暖化対策メニュー一覧	1
5.1.1	第 1 組織体制の整備	5
(1)	本社等	5
(2)	支店等	5
(3)	連鎖化事業者の本部	6
(4)	テナントビルの所有者等	6
(5)	テナント等	6
5.1.2	第 2 エネルギー等の使用状況の把握	7
(1)	事業所等	7
5.1.3	第 3 運用対策	8
(1)	全事業者	8
(2)	飲食系の業種	9
(3)	温水利用系の業種	10
(4)	宿泊型系の業種	11
(5)	飲食系、温水利用系、宿泊型系以外のサービス系の業種	12
(6)	食品小売系の業種	13
(7)	食品小売系以外の小売系の業種	14
(8)	テナントビルの所有者等	15
(9)	情報処理を主とする業種	16
(10)	教育・研究系の業種	17
(11)	加熱・乾燥を行う業種	19
(12)	加工・組立を行う業種	20
(13)	精密加工・薬品製造等を行う業種	21
(14)	食料品を加工・製造する業種	22
(15)	産業部門のその他の業種	23
5.1.4	第 4 設備保守対策	24
(1)	業務部門	24
(2)	産業部門	24
5.1.5	第 5 設備導入対策	25
(1)	業務部門	25
(2)	産業部門	27
5.2	地球温暖化対策重点対策一覧	
5.2.1	飲食系の業種	29
5.2.2	温水利用系の業種	32
5.2.3	宿泊型系の業種	35
5.2.4	飲食系、温水利用系、宿泊型系以外のサービス系の業種	38

5.2.5	食品小売系の業種.....	41
5.2.6	食品小売系以外の小売系の業種.....	44
5.2.7	テナントビルの所有者等.....	47
5.2.8	情報処理を主とする業種.....	50
5.2.9	教育・研究系の業種.....	53
5.2.10	加熱・乾燥を行う業種.....	56
5.2.11	加工・組立を行う業種.....	59
5.2.12	精密加工・薬品製造等を行う業種.....	62
5.2.13	食料品を加工・製造する業種.....	65
5.2.14	産業部門のその他の業種.....	68
5.3	地球温暖化対策メニュー（個表）.....	71
5.3.1	第1 推進体制の整備.....	A 1 0 1～
5.3.2	第2 エネルギー等の使用状況の把握.....	B 1 0 1～
5.3.3	第3 運用対策.....	C 1 0 1～
5.3.4	第4 設備保守対策.....	D 1 0 1～
5.3.5	第5 設備導入対策.....	E 1 0 1～

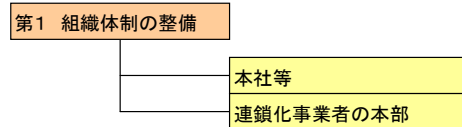
第5章 地球温暖化対策メニュー編

5.1 地球温暖化対策メニュー一覧

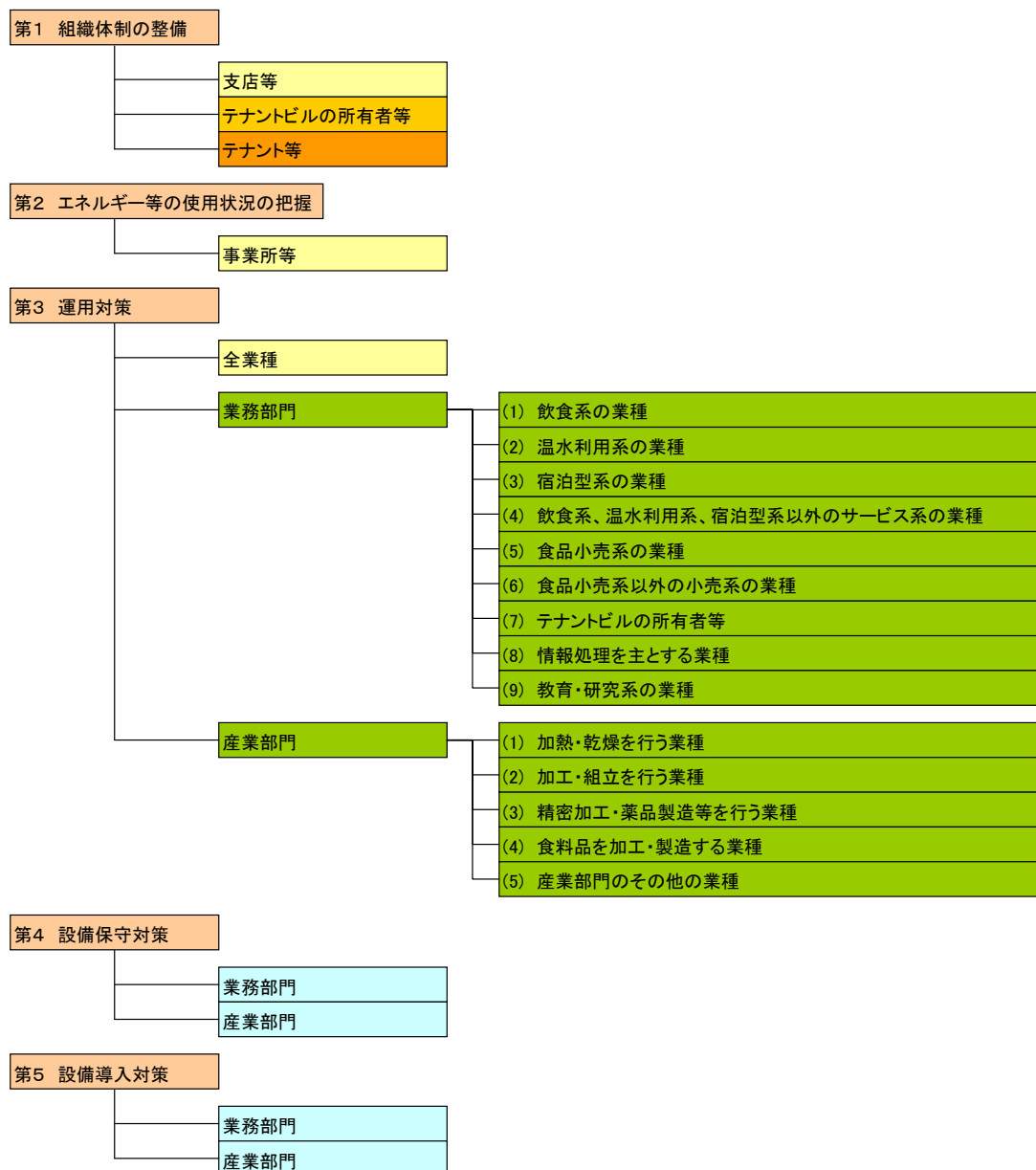
■地球温暖化対策メニューの体系

地球温暖化対策メニューは、下記の体系で示しています。

○本社等が取り組む地球温暖化対策メニュー



○各事業所等が取り組む地球温暖化対策メニュー



■業種分類別の事業所等の例

地球温暖化対策メニューの体系の「第3 運用対策」では、業種分類別に対策メニューを示しています。各業種分類に該当する事業所の例を以下に示します。

表 主な業種分類別の事業所の例

部門	業種分類	事業所の例
業務部門	飲食系の業種	ファーストフード店、居酒屋、ファミリーレストラン、コーヒーショップ、フードコート、その他飲食店・レストラン、持ち帰り弁当等店舗、食堂、式場、漫画喫茶店舗、給食センター
	温水利用系の業種	理容室、美容院、エステサロン、スポーツジム、プール、デイケアセンター
	宿泊型系の業種	ホテル、病院、老人ホーム、福利厚生施設(宿泊施設)
	飲食系、温水利用系、宿泊型系以外のサービス系の業種	クリーニング取次店、旅行代理店、斎場、映画館、パチンコ店舗、カラオケボックス、アミューズメント施設、診療所、郵便局、寺社、寺院、会館、図書館・博物館、学習塾・教室、研修施設(宿泊なし)、金融業店舗、庁舎
	食品小売系の業種	スーパーマーケット、デパート、コンビニエンスストア、冷蔵倉庫
	食品小売系以外の小売系の業種	ホームセンター、衣料品小売店、自動車小売店、家電量販店、ドラッグストア、ショールーム
	テナントビルの所有者等	テナントビル(オフィス、商業)、トランクルーム
	情報処理を主とする業種	データセンター、情報センター、防災センター
	教育・研究系の業種	小中学校、高校、大学、企業の研究所
産業部門	加熱・乾燥を行う業種	窯業・土石製品製造業、鉄鋼業の工場等
	加工・組立を行う業種	金属製品製造業、一般機械器具製造業、プラスチック製品製造業、電気機械器具製造業の工場等
	精密加工・薬品製造等を行う業種	電子部品・デバイス製造業、医薬品製造業、精密機械器具製造業の工場等
	食料品を加工・製造する業種	食料品製造業の工場等
	産業部門のその他の業種	印刷・同関連業、パルプ・紙・紙加工品製造業の工場等

■地球温暖化対策メニューのレベルについて

地球温暖化対策報告書制度では、報告書に記載する地球温暖化対策メニューにレベルを設定しています。これは、事業者の方々が、実施する地球温暖化対策メニューをレベルアップしていくことで、取組を推進していくことを目指しているためです。

地球温暖化対策メニューのレベルは、「重点対策（レベル1）」、「重点対策（レベル2）」、「重点対策（レベル3）」の3段階で設定しており、重点対策となっていない「その他対策」もあります。「重点対策」は、地球温暖化対策メニューの中で、比較的取組が容易かつ、中小規模事業所において確実に実施していただきたい対策です。

地球温暖化対策報告書制度に初めて取り組む事業者は、原則として「重点対策（レベル1）」の対策メニューから取り組んでいただき、その後、段階的に、「重点対策（レベル2）」、「重点対策（レベル3）」へとレベルアップしていただきます。

レベルアップの判断は、下記の目安を参考に、各事業者がご自身で行ってください。

＜レベルアップの目安＞

- 事業者において、重点対策を実施している事業所等の割合が6割以上
- 事業所等において、可能な重点対策の実施率が概ね6割以上

なお、地球温暖化対策報告書において、ある対策メニューを「実施している」と記載するかどうかは、下記の目安を参考に、各事業者がご自身の主観で判断してください。

＜実施状況の記載における目安＞

- 運用対策、設備導入対策などは、実施率50%以上を「実施」とします。

特に運用対策などの取組は、日々の取組が不可欠です。実施の目安として、営業日数の半分以上取り組んだ場合や、フロアの半分以上で実施できているなど、実施率50%に達している地球温暖化対策は、報告書に記載してください。

同様に設備導入についても、導入割合50%以上を目安にしてください。

- 会議・点検・委員会は実施回数1回／年以上で「実施」とします。

（基準等で定められた法定点検や自主点検などは基準回数以上）

不定期に開催される委員会等については、最低1回／年以上の開催を目安として、開催回数などに規定があるものは、当該回数の開催を実施の目安としてください。

保守点検なども同様の目安としてください。

- 方針等の設定、体制の構築などは、設定、構築されれば「実施」とします。

方針の設定や、体制の構築は、前年度に構築された場合以外にも、既に同様の体制を構築している場合も記載するようにしてください。

なお、これらの対策は、事業者の従業員に周知されている必要があります。

■都内中小クレジットと再エネクレジットについて

東京都では、大規模事業所を対象とした、「総量削減義務と排出量取引制度」を導入しています。同制度は、年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL/年以上の事業所（大規模事業所）に対して温室効果ガスの排出総量の削減を義務としているものです。削減義務の履行手段として、自らの事業所での排出削減に加えて、取引による削減義務の履行を認めています。

都の排出量取引制度では、①超過削減量、②都内中小クレジット、③再エネクレジット、④都外クレジットの 4 種を取引・活用することができます。その内、都内の中小規模事業所に関わるものは、②都内中小クレジットと、③再エネクレジットです。

本ハンドブックの地球温暖化対策メニュー一覧では、地球温暖化対策メニューの中で、②都内中小クレジットや、③再エネクレジットになる可能性がある対策メニューが分かるように、それぞれ「★」印と「☆」印をつけています。

なお、「都内中小クレジット」や「再エネクレジット」として認められるためには、より詳細な条件を満たし、かつ正式な手続きを経てクレジットとして認証される必要がありますので、詳細については、下記のウェブサイト等をご確認ください。

東京都ウェブサイト：総量削減義務と排出量取引制度

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/large_scale/cap_and_trade/index.html

網掛: 重点対策(レベル 1)

網掛: 重点対策(レベル 2)

網掛: 重点対策(レベル 3)

網掛無し: その他対策

5.1.1 第1 組織体制の整備

(1) 本社等

対策項目		対 策 名	対策番号	個表番号
(1) 統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	ア	地球温暖化対策の方針等の設定	A101	1
	イ	温暖化対策推進担当の配置	A102	2
(2) 推進体制の整備	ア	具体的な取組目標と内容の設定	A103	3
	イ	取組状況の点検体制の構築	A104	4
	ウ	取組内容や点検体制の定期的改善	A105	5
	エ	本社等による支店の支援	A106	6
	オ	排出状況の整理・分析・提供	A107	7
	カ	組織横断的な推進体制の整備	A108	8
(3) 外部の専門家との連携	ア	都などの無料の相談機関の利用	A109	9
	イ	外部専門家への相談依頼の実施	A110	10
(4) 従業員の育成・啓発	ア	全従業員に温暖化対策情報の提供	A111	11
	イ	温暖化対策提案制度の導入	A112	12
	ウ	推進担当者の知識向上・内部還元	A113	13
(5) 優良事例の共有化	ア	温暖化対策優良事例の情報収集	A114	14
	イ	優良事例の組織内共有体制の構築	A115	15
	ウ	所内会議・研修会等で報告	A116	16

(2) 支店等

対策項目		対 策 名	対策番号	個表番号
(1) 統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	ア	地球温暖化対策の方針等の設定	A201	17
	イ	温暖化対策推進担当の配置	A202	18
(2) 推進体制の整備	ア	具体的な取組目標と内容の設定	A203	19
	イ	取組状況の点検体制の構築	A204	20
	ウ	取組内容や点検体制の定期的改善	A205	21
	エ	所内の温室効果ガス排出量を集計	A206	22
	オ	排出状況の整理・分析・提供	A207	23
	カ	組織横断的な推進体制の整備	A208	8
(3) 外部の専門家との連携	ア	都などの無料の相談機関の利用	A209	9
	イ	外部専門家への相談依頼の実施	A210	10
(4) 従業員の育成・啓発	ア	所内で温暖化対策情報の提供	A211	24
	イ	温暖化対策提案制度の導入	A212	25
	ウ	推進担当者の知識向上・内部還元	A213	13
(5) 優良事例の共有化	ア	温暖化対策優良事例の情報収集	A214	14
	イ	優良事例の組織内共有体制の構築	A215	26
	ウ	所内会議・研修会等で報告	A216	16

(3) 連鎖化事業者の本部

対策項目		対 策 名	対策番号	個表番号
(1) 推進体制の整備	ア	各店舗の排出量整理・分析・提供	A301	27
	イ	スーパーバイザーによる点検実施	A302	28
	ウ	スーパーバイザーの知識向上	A303	29
(2) 加盟者との協力体制の整備	ア	温暖化対策への協力依頼	A304	30
	イ	優良事例の店舗間共有体制の構築	A305	31
	ウ	優良店舗の認定制度の導入	A306	32
	エ	組織横断的な推進体制の整備	A307	8

(4) テナントビルの所有者等

対策項目		対 策 名	対策番号	個表番号
(1) テナント等への 情報提供体制の整備	ア	テナントにエネルギー使用量提供	A401	33
	イ	使用量の推計に必要な情報の提供	A402	34
	ウ	中央熱源方式の空調使用量の提供	A403	35
(2) テナント等との協力体制の 整備	ア	テナントへの温暖化対策協力依頼	A404	36
	イ	ビル全体の推進体制の整備	A405	37
	ウ	使用量に応じた料金体系等の採用	A406	38

(5) テナント等

対策項目		対 策 名	対策番号	個表番号
(1) 所有者等との協力体制の 整備	ア	ビル所有者の対策や要請に協力	A501	39
	イ	ビルで設置する推進体制への協力	A502	40
	ウ	ビルへの温暖化対策提案の実施	A503	41

5.1.2 第2 エネルギー等の使用状況の把握

(1) 事業所等

対策項目		対 策 名	対策番号	個表番号
(1) エネルギー等の使用量の把握	ア	自ら入手可能な情報に基づく把握	B101	42
	イ	関連他者からの情報を加えて把握	B102	43
	ウ	時間的に詳細に把握	B103	44
	エ	設備ごとに詳細に把握	B104	45
(2) エネルギー等の使用状況の把握	ア	エネルギー使用量の前年度比較	B105	46
	イ	過去のデータによる傾向の把握	B106	47
	ウ	主要設備の使用状況の把握	B107	48
	エ	エネルギー等情報の対策への活用	B108	49

5.1.3 第3 運用対策

(1) 全事業者

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 執務室、共用部等の照明設備	(ア)	空室・不在時等のこまめな消灯	C101	50
	(イ)	照明スイッチに点灯範囲を表示	C102	51
	(ウ)	日本工業規格に準じた照度の設定	C103	52
	(エ)	採光を利用した消灯の実施	C104	53
	(オ)	昼休み時の消灯の実施	C105	54
	(カ)	可能な限り低い照度設定	C133	254
イ 執務室、共用部等の空調設備	(ア)	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C106	55
	(イ)	空調機スイッチに空調範囲を表示	C107	56
	(ウ)	温度計等による室温の把握と調整	C108	57
	(エ)	空室・不在時等の空調停止	C109	58
		余熱利用による早めの空調停止	C110	59
	(オ)	予熱・予冷時の外気導入の停止	C111	60
	(カ)	季節に応じた外気導入量の適正化	C112	61
	(キ)	中間期における外気冷房の実施	C113	62
	(ク)	冷風と温風の混合損失の防止	C122	174
	(ケ)	温湿度の適正管理	C123	175
	(コ)	冷凍機等の出入口温度把握と調整	C124	176
	(サ)	進入外気に伴う空調負荷の低減	C125	177
	(シ)	出入口等の開口部付近の空調停止	C131	252
	(ス)	開け放し開口部面積の縮小	C132	253
ウ 事務用機器	(ア)	事務用機器を省エネモードに設定	C114	63
	(イ)	事務用機器を業務終了時に停止	C115	64
	(ウ)	個人用端末の不用・離席時の停止	C116	65
	(エ)	事務用機器の台数見直し・集約化	C126	178
エ 共用設備	(ア)	便座ヒーター等温度の季節別設定	C117	66
	(イ)	自動販売機の休日・夜間照明停止	C118	67
	(ウ)	自動販売機の不要時の停止	C119	68
	(エ)	外灯等の点灯時間の季節別管理	C120	69
		看板照明点灯時間の季節別管理	C127	179
	(オ)	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C121	70
オ 熱源・搬送設備	(ア)	ポンプ・ファンの流量、圧力調整	C128	180
カ 給湯設備	(ア)	季節に応じた温度設定の見直し	C129	91
キ 昇降設備	(ア)	エレベータ運転台数の制限	C130	181

(2) 飲食系の業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 厨房・バックヤードの照明設備	(ア)	照明下の障害物を定期的に整理	C201	71
	(イ)	バックヤードのこまめな消灯	C202	72
イ 客席等の照明設備	(ア)	営業前後の客室不要照明の停止	C203	73
	(イ)	閑散時間帯等の客席の点灯管理	C204	74
	(ウ)	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C219	88
ウ 厨房・バックヤードの空調設備	(ア)	厨房内通風口障害物の定期的整理	C205	75
	(イ)	過度な換気風量の適正化	C206	76
	(ウ)	営業前後の厨房換気の不要時停止	C220	182
エ 客席等の空調設備	(ア)	温度計等による室温の把握と調整	C207	57
	(イ)	営業前後の客室不要空調の停止	C208	77
	(ウ)	利用状況に応じた空調の設定変更	C209	78
	(エ)	進入外気に伴う空調負荷の低減	C221	177
	(オ)	客室の換気風量の適正化	C222	183
オ 厨房設備	(ア)	加熱時間表示等による無駄の抑制	C210	79
	(イ)	加熱時の蓋の使用の徹底	C211	80
	(ウ)	水栓器具近傍に節水表示	C212	81
	(エ)	食器洗浄機の効率的な使用法表示	C213	82
		調理器具等の効率的な使用法表示	C214	83
	(オ)	営業開始に合わせた加熱器具使用	C223	184
カ 冷凍冷蔵設備	(ア)	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定	C215	84
	(イ)			
	(ウ)	冷凍冷蔵庫内の収納物品位置表示	C216	85
キ アからカまで以外の業務用設備	(ア)	その他設備の不使用时の停止	C217	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	C218	87
	(ウ)	看板照明点灯時間の季節別管理	C224	179

(3) 温水利用系の業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 利用室等の照明設備	(ア)	照明スイッチに点灯範囲を表示	C301	51
	(イ)	採光を利用した消灯の実施	C302	53
	(ウ)	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C303	88
イ 利用室の空調設備	(ア)	利用客数の時間帯別把握	C304	89
		利用状況に応じた空調の設定変更	C305	78
	(イ)	空調機スイッチに空調範囲を表示	C306	56
	(ウ)	余熱利用による早めの空調停止	C307	59
	(エ)	温度計等による室温の把握と調整	C308	57
	(オ)	空室・不在時等の空調停止	C309	58
	(カ)	中央熱源機器等の季節設定実施	C310	90
ウ 給湯設備	(ア)	季節に応じた温度設定の見直し	C311	91
	(イ)	給湯設定と使用場所の温度差把握	C312	92
	(ウ)	利用客数別燃料使用量の把握	C313	93
	(エ)	効率的な台数でのボイラ等の運転	C314	94
	(オ)	蒸気の漏れ・保温の管理	C319	185
エ 給排水設備	(ア)	水道メータ等で漏水の有無の点検	C315	95
	(イ)	利用客数別水道使用量の把握	C316	96
オ アからエまで以外の 業務用設備	(ア)	その他設備の不使用时の停止	C317	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	C318	87
	(ウ)	看板照明点灯時間の季節別管理	C320	179

(4) 宿泊型系の業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 共用部および客室の 空調設備	(ア)	利用客数の時間帯別把握	C401	89
		利用状況に応じた空調の設定変更	C402	78
	(イ)	中央熱源機器等の季節設定実施	C403	90
	(ウ)	不使用室の空調停止	C417	186
	(エ)	客室清掃時の空調停止	C418	187
	(オ)	ポンプ・ファンの流量、圧力調整	C419	180
	(カ)	客室・共用部外調機の温度設定	C420	188
イ 厨房設備	(ア)	加熱時間表示等による無駄の抑制	C404	79
	(イ)	加熱時の蓋の使用の徹底	C405	80
	(ウ)	水栓器具近傍に節水表示	C406	81
	(エ)	食器洗浄機の効率的な使用法表示	C407	82
		調理器具等の効率的な使用法表示	C408	83
	(オ)	過度な換気風量の適正化	C421	76
	(カ)	営業開始に合わせた加熱器具使用	C422	184
ウ 給湯設備	(ア)	季節に応じた温度設定の見直し	C409	91
	(イ)	給湯設定と使用場所の温度差把握	C410	92
	(ウ)	利用客数別燃料使用量の把握	C411	93
	(エ)	効率的な台数でのボイラ等の運転	C412	94
	(オ)	蒸気の漏れ・保温の管理	C423	185
エ 給排水設備	(ア)	水道メータ等で漏水の有無の点検	C413	95
	(イ)	利用客数別水道使用量の把握	C414	96
オ アからエまで以外の 業務用設備	(ア)	その他設備の不使用时の停止	C415	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	C416	87
	(ウ)	看板照明点灯時間の季節別管理	C424	179

(5) 飲食系、温水利用系、宿泊型系以外のサービス系の業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 客室等の照明設備	(ア)	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C501	88
	(イ)	採光を利用した消灯の実施	C502	53
イ 客室等の空調設備	(ア)	利用客数の時間帯別把握	C503	89
		利用状況に応じた空調の設定変更	C504	78
	(イ)	空調機スイッチに空調範囲を表示	C505	56
	(ウ)	余熱利用による早めの空調停止	C506	59
	(エ)	温度計等による室温の把握と調整	C507	57
	(オ)	空室・不在時等の空調停止	C508	58
	(カ)	中央熱源機器等の季節設定実施	C509	90
	(キ)	進入外気に伴う空調負荷の低減	C512	177
ウ 共用設備	(ア)	便座ヒーター等温度の季節別設定	C513	66
	(イ)	自動販売機の休日・夜間照明停止	C514	67
	(ウ)	自動販売機の不要時の停止	C515	68
	(エ)	外灯等の点灯時間の季節別管理	C516	69
		看板照明点灯時間の季節別管理	C517	179
	(オ)	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C518	70
エ 給湯設備	(ア)	季節に応じた温度設定の見直し	C519	91
	(イ)	給湯設定と使用場所の温度差把握	C520	92
	(ウ)	利用客数別燃料使用量の把握	C521	93
	(エ)	効率的な台数でのボイラ等の運転	C522	94
	(オ)	蒸気の漏れ・保温の管理	C523	185
オ 給排水設備	(ア)	水道メータ等で漏水の有無の点検	C524	95
	(イ)	利用客数別水道使用量の把握	C525	96
カ 上記以外の 他のサービス系業種の 主な設備等	(ア)	その他設備の不使用时の停止	C510	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	C511	87

(6) 食品小売系の業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 売場等の照明設備	(ア)	照明スイッチに点灯範囲を表示	C601	51
	(イ)	営業前後の売り場不要照明の停止	C602	97
	(ウ)	バックヤードのこまめな消灯	C603	72
	(エ)	スポット照明の照射位置調整	C604	98
イ 売場等の空調設備	(ア)	利用客数の時間帯別把握	C605	89
		利用状況に応じた空調の設定変更	C606	78
	(イ)	空調機スイッチに空調範囲を表示	C607	56
	(ウ)	余熱利用による早めの空調停止	C608	59
	(エ)	温度計等による室温の把握と調整	C609	57
	(オ)	空室・不在時等の空調停止	C610	58
	(カ)	中央熱源機器等の季節設定実施	C611	90
ウ 厨房・バックヤードの空調設備	(ア)	厨房内通風口障害物の定期的整理	C618	75
	(イ)	過度な換気風量の適正化	C619	76
	(ウ)	営業前後の厨房換気の不要時停止	C620	182
エ 厨房設備	(ア)	加熱時間表示等による無駄の抑制	C621	79
	(イ)	加熱時の蓋の使用の徹底	C622	80
	(ウ)	水栓器具近傍に節水表示	C623	81
	(エ)	食器洗浄機の効率的な使用法表示	C624	82
		調理器具等の効率的な使用法表示	C625	83
	(オ)	営業開始に合わせた加熱器具使用	C626	184
オ 冷凍冷蔵設備	(ア)	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定	C612	84
	(イ)			
	(ウ)	冷凍冷蔵庫内の収納物品位置表示	C613	85
	(エ)	ショーケースナイトカバーの使用	C614	99
	(オ)	冷氣吹出し・吸込口の陳列物整理	C615	100
	(カ)	ショーケース除霜装置冬期等調整	C627	189
	(キ)	冷凍機の管理・運転適正化	C628	190
カ 共用設備	(ア)	便座ヒーター等温度の季節別設定	C629	66
	(イ)	自動販売機の休日・夜間照明停止	C630	67
	(ウ)	自動販売機の不要時の停止	C631	68
	(エ)	外灯等の点灯時間の季節別管理	C632	69
	(オ)	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C633	70
	(カ)	看板照明点灯時間の季節別管理	C634	179
キ アからカまで以外の業務用設備	(ア)	その他設備の不使用时の停止	C616	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	C617	87

(7) 食品小売系以外の小売系の業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 売場等の照明設備	(ア)	照明スイッチに点灯範囲を表示	C701	51
	(イ)	営業前後の売り場不要照明の停止	C702	97
	(ウ)	バックヤードのこまめな消灯	C703	72
	(エ)	スポット照明の照射位置調整	C704	98
イ 売場等の空調設備	(ア)	利用客数の時間帯別把握	C705	89
		利用状況に応じた空調の設定変更	C706	78
	(イ)	空調機スイッチに空調範囲を表示	C707	56
	(ウ)	余熱利用による早めの空調停止	C708	59
	(エ)	温度計等による室温の把握と調整	C709	57
	(オ)	空室・不在時等の空調停止	C710	58
	(カ)	中央熱源機器等の季節設定実施	C711	90
	(キ)	進入外気に伴う空調負荷の低減	C714	177
ウ 共用設備	(ア)	便座ヒーター等温度の季節別設定	C715	66
	(イ)	自動販売機の休日・夜間照明停止	C716	67
	(ウ)	自動販売機の不要時の停止	C717	68
	(エ)	外灯等の点灯時間の季節別管理	C718	69
	(オ)	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C719	70
	(カ)	看板照明点灯時間の季節別管理	C720	179
エ 上記以外の 他の小売系の業種の 主な設備等	(ア)	その他設備の不使用时の停止	C712	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	C713	87

(8) テナントビルの所有者等

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 共用部の照明設備	(ア)	共用部照明のフロアごとの管理	C801	101
	(イ)	階段照明の管理手法の検討・実施	C802	102
イ 共用部の空調設備	(ア)	フロア共用部の温度の把握・設定	C803	103
	(イ)	共用部のフロアごとの空調の管理	C804	104
	(ウ)	中央熱源機器等の季節設定実施	C805	90
	(エ)	温湿度の適正管理	C808	175
	(オ)	冷風と温風の混合損失の防止	C809	174
ウ 共用設備	(ア)	便座ヒーター等温度の季節別設定	C810	66
	(イ)	自動販売機の休日・夜間照明停止	C811	67
	(ウ)	自動販売機の不要時の停止	C812	68
	(エ)	外灯等の点灯時間の季節別管理	C813	69
	(オ)	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C814	70
	(カ)	看板照明点灯時間の季節別管理	C815	179
エ 熱源・搬送設備	(ア)	ポンプ・ファンの流量、圧力調整	C816	180
オ 給湯設備	(ア)	季節に応じた温度設定の見直し	C817	91
カ 昇降設備	(ア)	エレベータ運転台数の制限	C818	181
キ アからカまで以外の業務用設備	(ア)	その他設備の不使用时の停止	C806	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	C807	87

(9) 情報処理を主とする業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 執務室、共用部等の照明設備	(ア)	空室・不在時等のこまめな消灯	CA01	50
	(イ)	照明スイッチに点灯範囲を表示	CA02	51
	(ウ)	日本工業規格に準じた照度の設定	CA03	52
イ 執務室、共用部等の空調設備	(ア)	空調機スイッチに空調範囲を表示	CA04	56
	(イ)	温度計等による室温の把握と調整	CA05	57
	(ウ)	季節に応じた外気導入量の適正化	CA06	61
	(エ)	中間期における外気冷房の実施	CA07	62
ウ 受変電設備	(ア)	受電力率の把握・記録	CA08	112
	(イ)	契約電力の変更の検討	CA09	113
	(ウ)	電力効率(PUE)等の把握	CA10	191
エ サーバルーム内のラック	(ア)	ラック内高温・低温空間の分離	CA11	192
	(イ)	ラック内の適正な機器配置	CA12	193
	(ウ)	冷却効率を考慮した配線の実施	CA13	194
オ IT 機器	(ア)	機器ごとの電力消費量の監視	CA14	195
	(イ)	不要な機器の電源オフ	CA15	196
カ サーバルームの空調設備	(ア)	サーバルームの温度監視	CA16	197
	(イ)	エアフローの把握と調整	CA17	198
	(ウ)	熱だまりの把握と局所的な冷却	CA18	199
	(エ)	サーバ室内高温・低温空間の分離	CA19	200
	(オ)	整流板等による気流の制御	CA20	201
	(カ)	発熱量に応じたラック配置	CA21	202
	(キ)	解析ソフト等による熱気流把握	CA22	203
	(ク)	床下ケーブル整理による気流改善	CA23	204
	(ケ)	負荷に応じた空調機運転台数制御	CA24	205
キ アからカまで以外の業務用設備	(ア)	その他設備の不使用时の停止	CA25	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	CA26	87

(10) 教育・研究系の業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 教室等の照明設備	(ア)	空室・不在時等のこまめな消灯	CB01	50
	(イ)	照明スイッチに点灯範囲を表示	CB02	51
	(ウ)	日本工業規格に準じた照度の設定	CB03	52
	(エ)	採光を利用した消灯の実施	CB04	53
	(オ)	昼休み時の消灯の実施	CB05	54
イ 教室等の空調設備	(ア)	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	CB06	55
	(イ)	空調機スイッチに空調範囲を表示	CB07	56
	(ウ)	温度計等による室温の把握と調整	CB08	57
	(エ)	空室・不在時等の空調停止	CB09	58
		余熱利用による早めの空調停止	CB10	59
	(オ)	予熱・予冷時の外気導入の停止	CB11	60
	(カ)	季節に応じた外気導入量の適正化	CB12	61
	(キ)	中間期における外気冷房の実施	CB13	62
	(ク)	冷風と温風の混合損失の防止	CB14	174
ウ 共用設備	(ケ)	進入外気に伴う空調負荷の低減	CB15	177
	(ア)	自動販売機の休日・夜間照明停止	CB16	67
	(イ)	自動販売機の不要時の停止	CB17	68
	(ウ)	外灯等の点灯時間の季節別管理	CB18	69
エ 調理室の照明設備	(エ)	看板照明点灯時間の季節別管理	CB19	179
	(ア)	照明下の障害物を定期的に整理	CB20	71
イ 調理室の照明設備	(イ)	バックヤードのこまめな消灯	CB21	72
	(ア)	営業前後の客室不要照明の停止	CB22	73
オ 給食室・食堂等の照明設備	(イ)	閑散時間帯等の客席の点灯管理	CB23	74
	(ア)	厨房内通風口障害物の定期的整理	CB24	75
カ 調理室の空調設備	(イ)	過度な換気風量の適正化	CB25	76
	(ウ)	営業前後の厨房換気の不要時停止	CB26	182
キ 給食室・食堂等の空調設備	(ア)	営業前後の客室不要空調の停止	CB27	77
	(イ)	利用状況に応じた空調の設定変更	CB28	78
ク 厨房設備	(ア)	加熱時間表示等による無駄の抑制	CB29	79
	(イ)	加熱時の蓋の使用の徹底	CB30	80
	(ウ)	水栓器具近傍に節水表示	CB31	81
	(エ)	食器洗浄機の効率的な使用法表示	CB32	82
		調理器具等の効率的な使用法表示	CB33	83
	(オ)	営業開始に合わせた加熱器具使用	CB34	184

(次ページに続く)

(続き)

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ケ 冷凍冷蔵設備	(ア)	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定	CB35	84
	(イ)			
	(ウ)	冷凍冷蔵庫内の収納物品位置表示	CB36	85
コ 研究設備	(ア)	4S(整理・整頓等)の実施	CB37	206
	(イ)	研究手順に適した機器の配置	CB38	207
	(ウ)	運転方法ルール化と不使用時停止	CB39	208
	(エ)	研究手順の見直し・工程の集約化	CB40	209
サ 作業場の空調設備	(ア)	温湿度の適正管理	CB41	175
	(イ)	工程や作業用途に応じた風量管理	CB42	210
	(ウ)	操業状態に応じた運転・停止	CB43	211
	(エ)	循環風量の適正化	CB44	212
	(オ)	外気量の適正化	CB45	213
シ 受変電設備	(ア)	受電力率の把握・記録	CB46	112
	(イ)	契約電力の変更の検討	CB47	113
ス 給排水設備	(ア)	水道メータ等で漏水の有無の点検	CB48	95
	(イ)	水利用方法に関するルール化	CB49	128
セ アからスまで以外の 業務用設備	(ア)	その他設備の不使用時の停止	CB50	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	CB51	87

(11) 加熱・乾燥を行う業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 産業設備全般	(ア)	4S(整理・整頓等)の実施	CC01	105
	(イ)	作業順序に適した機器の配置	CC02	106
	(ウ)	装置停止時の補機の停止	CC03	214
イ 生産設備	(ア)	機器特性把握と仕様のリスト化	CC04	107
	(イ)	運転方法ルール化と不使用時停止	CC05	108
	(ウ)	生産設備電流電圧の日常的な記録	CC06	109
	(エ)	効率の良い機器を優先的に使用	CC07	110
	(オ)	効率的な台数での生産設備の運転	CC08	111
ウ 受変電設備	(ア)	受電力率の把握・記録	CC09	112
	(イ)	契約電力の変更の検討	CC10	113
エ コンプレッサ設備	(ア)	圧縮空気設備の系統図の作成	CC11	114
		圧縮空気使用設備のリスト化	CC12	115
	(イ)	空気系統のエア漏れ確認	CC13	116
	(ウ)	空気系統の圧力の日常的な記録	CC14	117
	(エ)	コンプレッサ吐出圧力の適正化	CC15	118
	(オ)	コンプレッサ運転台数の適正化	CC16	119
オ ボイラ設備	(ア)	燃料使用量等の日常的な記録	CC17	120
		蒸気の系統図の作成	CC18	121
		蒸気使用設備のリスト化	CC19	122
	(イ)	不要系統への蒸気供給の停止	CC20	123
	(ウ)	暖機運転時間の短縮	CC21	124
	(エ)	水質に適したブロー量の低減	CC22	125
	(オ)	蒸気圧力の適正化	CC23	126
	(カ)	効率的な台数でのボイラ等の運転	CC24	94
	(キ)	ボイラ等の空気比の調整	CC25	127
カ 加熱・乾燥設備	(ア)	炉等の温度・圧力の管理	CC26	215
	(イ)	炉壁放熱量の把握	CC27	216
	(ウ)	加熱工程の把握と改善	CC28	217
	(エ)	炉等の空気比の適正化	CC29	218
	(オ)	炉等の開口部の熱損失の低減	CC30	219
キ アからカまで以外の 業務用設備	(ア)	その他設備の不使用时の停止	CC31	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	CC32	87

(12) 加工・組立を行う業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 産業設備全般	(ア)	4S(整理・整頓等)の実施	CD01	105
	(イ)	作業順序に適した機器の配置	CD02	106
	(ウ)	装置停止時の補機の停止	CD03	214
イ 生産設備	(ア)	機器特性把握と仕様のリスト化	CD04	107
	(イ)	運転方法ルール化と不使用時停止	CD05	108
	(ウ)	生産設備電流電圧の日常的な記録	CD06	109
	(エ)	効率の良い機器を優先的に使用	CD07	110
	(オ)	効率的な台数での生産設備の運転	CD08	111
	(カ)	生産ラインの見直し・集約化	CD09	220
ウ 受変電設備	(ア)	受電率の把握・記録	CD10	112
	(イ)	契約電力の変更の検討	CD11	113
エ コンプレッサ設備	(ア)	圧縮空気設備の系統図の作成	CD12	114
		圧縮空気使用設備のリスト化	CD13	115
	(イ)	空気系統のエア漏れ確認	CD14	116
	(ウ)	空気系統の圧力の日常的な記録	CD15	117
	(エ)	コンプレッサ吐出圧力の適正化	CD16	118
	(オ)	コンプレッサ運転台数の適正化	CD17	119
オ ボイラ設備	(ア)	燃料使用量等の日常的な記録	CD18	120
		蒸気の系統図の作成	CD19	121
		蒸気使用設備のリスト化	CD20	122
	(イ)	不要系統への蒸気供給の停止	CD21	123
	(ウ)	暖機運転時間の短縮	CD22	124
	(エ)	水質に適したブロー量の低減	CD23	125
	(オ)	蒸気圧力の適正化	CD24	126
	(カ)	効率的な台数でのボイラ等の運転	CD25	94
カ 換気設備	(キ)	ボイラ等の空気比の調整	CD26	127
	(ア)	換気風量の適正化	CD27	221
キ アからカまで以外の 業務用設備	(ア)	その他設備の不使用時の停止	CD28	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	CD29	87

(13) 精密加工・薬品製造等を行う業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 産業設備全般	(ア)	4S(整理・整頓等)の実施	CE01	105
	(イ)	作業順序に適した機器の配置	CE02	106
	(ウ)	装置停止時の補機の停止	CE03	214
イ 生産設備	(ア)	機器特性把握と仕様のリスト化	CE04	107
	(イ)	運転方法ルール化と不使用時停止	CE05	108
	(ウ)	生産設備電流電圧の日常的な記録	CE06	109
	(エ)	効率の良い機器を優先的に使用	CE07	110
	(オ)	効率的な台数での生産設備の運転	CE08	111
ウ 受変電設備	(ア)	受電力率の把握・記録	CE09	112
	(イ)	契約電力の変更の検討	CE10	113
エ コンプレッサ設備	(ア)	圧縮空気設備の系統図の作成	CE11	114
		圧縮空気使用設備のリスト化	CE12	115
	(イ)	空気系統のエア漏れ確認	CE13	116
	(ウ)	空気系統の圧力の日常的な記録	CE14	117
	(エ)	コンプレッサ吐出圧力の適正化	CE15	118
	(オ)	コンプレッサ運転台数の適正化	CE16	119
オ ボイラ設備	(ア)	燃料使用量等の日常的な記録	CE17	120
		蒸気の系統図の作成	CE18	121
		蒸気使用設備のリスト化	CE19	122
	(イ)	不要系統への蒸気供給の停止	CE20	123
	(ウ)	暖機運転時間の短縮	CE21	124
	(エ)	水質に適したブロー量の低減	CE22	125
	(オ)	蒸気圧力の適正化	CE23	126
	(カ)	効率的な台数でのボイラ等の運転	CE24	94
	(キ)	ボイラ等の空気比の調整	CE25	127
カ 作業場の空調設備	(ア)	温湿度の適正管理	CE26	175
	(イ)	工程や作業用途に応じた風量管理	CE27	210
	(ウ)	操業状態に応じた運転・停止	CE28	211
	(エ)	循環風量の適正化	CE29	212
	(オ)	外気量の適正化	CE30	213
キ アからカまで以外の 業務用設備	(ア)	その他設備の不使用时の停止	CE31	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	CE32	87

(14) 食料品を加工・製造する業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 産業設備全般	(ア)	4S(整理・整頓等)の実施	CF01	105
	(イ)	作業順序に適した機器の配置	CF02	106
	(ウ)	装置停止時の補機の停止	CF03	214
イ 生産設備	(ア)	機器特性把握と仕様のリスト化	CF04	107
	(イ)	運転方法ルール化と不使用時停止	CF05	108
	(ウ)	生産設備電流電圧の日常的な記録	CF06	109
	(エ)	効率の良い機器を優先的に使用	CF07	110
	(オ)	効率的な台数での生産設備の運転	CF08	111
ウ 受変電設備	(ア)	受電力率の把握・記録	CF09	112
	(イ)	契約電力の変更の検討	CF10	113
エ コンプレッサ設備	(ア)	圧縮空気設備の系統図の作成	CF11	114
		圧縮空気使用設備のリスト化	CF12	115
	(イ)	空気系統のエア漏れ確認	CF13	116
	(ウ)	空気系統の圧力の日常的な記録	CF14	117
	(エ)	コンプレッサ吐出圧力の適正化	CF15	118
	(オ)	コンプレッサ運転台数の適正化	CF16	119
オ ボイラ設備	(ア)	燃料使用量等の日常的な記録	CF17	120
		蒸気の系統図の作成	CF18	121
		蒸気使用設備のリスト化	CF19	122
	(イ)	不要系統への蒸気供給の停止	CF20	123
	(ウ)	暖機運転時間の短縮	CF21	124
	(エ)	水質に適したブロー量の低減	CF22	125
	(オ)	蒸気圧力の適正化	CF23	126
	(カ)	効率的な台数でのボイラ等の運転	CF24	94
	(キ)	ボイラ等の空気比の調整	CF25	127
カ 給排水設備	(ア)	水道メータ等で漏水の有無の点検	CF26	95
	(イ)	水利用方法に関するルール化	CF27	128
キ 作業場の空調設備	(ア)	温湿度の適正管理	CF28	175
	(イ)	工程や作業用途に応じた風量管理	CF29	210
	(ウ)	操業状態に応じた運転・停止	CF30	211
	(エ)	循環風量の適正化	CF31	212
	(オ)	外気量の適正化	CF32	213
ク 換気設備	(ア)	換気風量の適正化	CF33	221
ケ アからクまで以外の 業務用設備	(ア)	その他設備の不使用時の停止	CF34	86
	(イ)	その他設備の効率的な使用法表示	CF35	87

(15) 産業部門のその他の業種

対象となる設備		対 策 名	対策番号	個表番号
ア 産業設備全般	(ア)	4S(整理・整頓等)の実施	C901	105
	(イ)	作業順序に適した機器の配置	C902	106
イ 生産設備	(ア)	機器特性把握と仕様のリスト化	C903	107
	(イ)	運転方法ルール化と不使用時停止	C904	108
	(ウ)	生産設備電流電圧の日常的な記録	C905	109
	(エ)	効率の良い機器を優先的に使用	C906	110
	(オ)	効率的な台数での生産設備の運転	C907	111
ウ 受変電設備	(ア)	受電力率の把握・記録	C908	112
	(イ)	契約電力の変更の検討	C909	113
エ コンプレッサ設備	(ア)	圧縮空気設備の系統図の作成	C910	114
		圧縮空気使用設備のリスト化	C911	115
	(イ)	空気系統のエア漏れ確認	C912	116
	(ウ)	空気系統の圧力の日常的な記録	C913	117
	(エ)	コンプレッサ吐出圧力の適正化	C914	118
	(オ)	コンプレッサ運転台数の適正化	C915	119
オ ボイラ設備		燃料使用量等の日常的な記録	C916	120
	(ア)	蒸気の系統図の作成	C917	121
		蒸気使用設備のリスト化	C918	122
	(イ)	不要系統への蒸気供給の停止	C919	123
	(ウ)	暖機運転時間の短縮	C920	124
	(エ)	水質に適したブロー量の低減	C921	125
	(オ)	蒸気圧力の適正化	C922	126
	(カ)	効率的な台数でのボイラ等の運転	C923	94
	(キ)	ボイラ等の空気比の調整	C924	127
カ ポンプ設備	(ア)	ポンプの送水圧等の把握	C929	222
	(イ)	ポンプの送水圧力・流量の適正化	C930	223
キ 換気設備	(ア)	換気風量の適正化	C931	221
ク 給排水設備	(ア)	水道メータ等で漏水の有無の点検	C925	95
	(イ)	水利用方法に関するルール化	C926	128
ケ アからクまで以外の 業務用設備	(ア)	その他設備の不使用时の停止	C927	86
		その他設備の効率的な使用法表示	C928	87

5.1.4 第4 設備保守対策

(1) 業務部門

対象となる設備		対 策 名		対策番号	個表番号
(1)照明設備	ア 屋内照明設備	(ア)	ランプ等の定期的な清掃・交換	D101	129
(2)空調・ 換気設備	ア 中央熱源方式 空調設備	(ア)	セントラル空調のフィルター清掃	D102	130
			中央熱源機器等の定期点検の実施	D103	131
	イ 個別方式 空調設備	(ア)	空調フィルターの清掃・点検	D104	132
	ウ 換気設備	(ア)	換気フィルターの清掃・点検	D105	133
(3)給湯設備	ア 中央方式 給湯設備	(ア)	ボイラ等の定期点検の実施	D106	134
		(イ)	ボイラ等の空気比の調整	D107	127
(4)(1)から(3)まで以外の 業務用設備		(ア)	その他設備の定期的な保守・点検	D108	135

(2) 産業部門

対象となる設備		対 策 名		対策番号	個表番号
(1)照明設備	ア 屋内照明設備	(ア)	ランプ等の定期的な清掃・交換	D201	129
(2)空調・換気設備	ア 中央熱源方式空調設備	(ア)	セントラル空調のフィルター清掃	D202	130
			中央熱源機器等の定期点検の実施	D203	131
	イ 個別方式空調設備	(ア)	空調フィルターの清掃・点検	D204	132
	ウ 換気設備	(ア)	換気フィルターの清掃・点検	D205	133
(3)生産設備	(ア)	(ア)	動力伝達部の定期的な点検	D206	136
		(ア)	生産設備システムの定期的な点検	D207	137
	(イ)	(イ)	ストレーナやフィルターの清掃	D208	138
(4)コンプレッサ設備	(ア)	(ア)	空気系統のエア漏れ補修	D209	139
	(イ)	(イ)	コンプレッサの定期点検の実施	D210	140
(5)ボイラ設備	(ア)	(ア)	ボイラ等の定期点検の実施	D211	134
	(イ)	(イ)	蒸気トラップの点検の実施	D212	141
	(ウ)	(ウ)	蒸気系統の蒸気漏れ補修	D213	142
	(エ)	(エ)	ボイラ等の水質の管理	D214	143
	(オ)	(オ)	ボイラ等の空気比の調整	D217	127
(6)給排水設備	(ア)	(ア)	水道メータ等で漏水の有無の点検	D215	95
(7)(1)から(6)まで以外の業務用設備		(ア)	その他設備の定期的な保守・点検	D216	135

5.1.5 第5 設備導入対策

(1) 業務部門

対策分類		対 策 名		対策番号	個表番号
対象となる設備	対策項目				
(1)照明設備	ア 屋内ランプの高効率化	(ア)	高効率照明ランプの採用(屋内)	E101	144
	イ 屋内照明器具の高効率化	(ア)	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)	E102	145
		(イ)	高効率照明器具の採用(屋内)	E103	★146
		(ウ)	高輝度誘導灯の導入	E125	★224
	ウ 屋内照明の点灯回路の細分化	(ア)	照明点灯範囲の細分化	E104	147
		(イ)	照明用人感センサの採用	E105	★148
	エ 屋外ランプの高効率化	(ア)	高効率照明ランプの採用(屋外)	E106	149
	オ 屋外照明器具の高効率化	(ア)	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)	E107	150
		(イ)	高効率照明器具の採用(屋外)	E108	★151
	カ 昼光の利用	(ア)	窓際照明の連続調光制御	E126	★225
(2)空気調和設備(中央熱源方式)	ア 冷温水配管の保温	(ア)	空調の冷温水配管の保温の実施	E109	152
		(イ)	蒸気バルブ等の断熱強化	E127	226
	イ 搬送動力の負荷に応じた制御の導入	(ア)	高効率モータの導入(空調用)	E110	★153
		(イ)	ポンプ・ファンのインバータ制御	E111	★154
	ウ 冷温熱源機の高効率化	(ア)	空調用高効率冷凍機の採用	E112	★155
			高効率ボイラの採用(空調用)	E113	★156
		(イ)	フリークーリングの導入	E128	227
	エ 熱損失の低減	(ア)	全熱交換器の導入	E129	★228
(3)空調設備(個別方式)	ア 空調機の効率化	(ア)	高効率パッケージの採用	E114	★157
	イ 熱損失の低減	(ア)	全熱交換器の導入	E130	★228

(次ページに続く)

個表番号の前に★印がある物は、
都内中小クレジット対象設備
個表番号の前に☆印がある物は、
再エネクレジット対象設備

(続き)

対策分類		対 策 名		対策番号	個表番号
対象となる設備	対策項目				
(4)冷凍・冷蔵設備	ア 冷凍冷蔵ショーケースの照明の効率化	(ア)	トップフード照明の導入	E115	158
	イ 冷凍冷蔵ショーケースの断熱化	(ア)	ナイトカバーの採用	E116	159
	ウ 冷凍冷蔵ショーケースの冷凍冷蔵機能の高効率化	(ア)	冷凍冷蔵ケースインバータの導入	E117	160
		(イ)	高効率ショーケースの採用	E118	161
		(ウ)	扉付きショーケースの導入	E145	255
	エ 冷熱源機の高効率化	(ア)	冷凍・冷蔵用高効率冷凍機の採用	E131	229
	オ 冷気の損失防止	(ア)	エアカーテンの設置	E132	230
(5)給湯・給水設備	ア 給湯器の高効率化	(ア)	潜熱回収型ガス給湯器等の導入	E119	★162
		(イ)	ヒートポンプ式給湯器等の導入	E120	★163
		(ウ)	高効率ボイラの採用(給湯用)	E121	★164
	イ 温水配管の強化	(ア)	給湯の温水配管の保温の実施	E122	165
	ウ 使用水量の削減	(ア)	節水器具の採用	E133	231
(6)事務用機器	ア 事務用機器の高効率化	(ア)	トップランナー機器の採用	E123	166
(7)換気設備	ア 負荷に応じた制御の導入	(ア)	駐車場CO等濃度制御の導入	E134	★232
(8)昇降設備	ア 昇降設備の高効率化	(ア)	エレベータのインバータ制御	E135	★233
(9)受変電設備	ア 需用電力の監視	(ア)	デマンドコントローラの設置	E136	234
	イ 受変電設備の高効率化	(ア)	高効率変圧器への更新・台数集約	E137	★(更新のみ)235
		(イ)	高効率無停電電源装置の導入	E138	236
	ウ 力率の改善	(ア)	進相コンデンサ等による力率改善	E139	237
(10)中央監視設備	ア エネルギー管理システムの導入	(ア)	BEMS の導入	E140	238
(11)再生可能エネルギー	ア 再生可能エネルギーの導入	(ア)	太陽光発電設備の導入	E141	☆239
		(イ)	太陽熱利用設備の導入	E142	☆240
		(ウ)	地中熱ヒートポンプの導入	E143	241
		(エ)	バイオマス設備の導入	E144	☆242
(12) (1)から(11)まで以外の設備	ア (1)から(11)まで以外の設備	(ア)	更新に合わせた高効率機器の採用	E124	167

(2) 産業部門

対策分類		対 策 名		対策番号	個表番号
対象となる設備	対策項目				
(1)照明設備	ア 屋内ランプの高効率化	(ア)	高効率照明ランプの採用(屋内)	E201	144
	イ 屋内照明器具の高効率化	(ア)	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)	E202	145
		(イ)	高効率照明器具の採用(屋内)	E203	★146
	ウ 屋内照明の点灯回路の細分化	(ア)	照明点灯範囲の細分化	E204	147
		(イ)	照明用人感センサの採用	E205	★148
	エ 屋外ランプの高効率化	(ア)	高効率照明ランプの採用(屋外)	E206	149
	オ 屋外照明器具の高効率化	(ア)	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)	E207	150
		(イ)	高効率照明器具の採用(屋外)	E208	★151
(2)空気調和設備(中央熱源方式)	ア 冷温水配管の保温	(ア)	空調の冷温水配管の保温の実施	E209	152
	イ 搬送動力の負荷に応じた制御の導入	(ア)	高効率モータの導入(空調用)	E210	★153
		(イ)	ポンプ・ファン等のインバータ制御	E211	★154
	ウ 冷温熱源機の高効率化	(ア)	空調用高効率冷凍機の採用	E212	★155
			高効率ボイラの採用(空調用)	E213	★156
(3)空調設備(個別方式)	ア 空調機の効率化	(ア)	高効率パッケージの採用	E214	★157
(4)作業場の空調設備	ア 空調範囲の適正化	(ア)	局所空調の導入	E222	243
(5)生産設備	ア モータの高効率化	(ア)	高効率モータの導入	E215	★168
	イ 負荷に応じた制御の導入	(ア)	インバータ制御の導入	E216	169
(6)コンプレッサ設備	ア 機器の高効率化	(ア)	高効率コンプレッサの採用	E217	★170
	イ 機器の効率的な使用	(ア)	低温・清浄な空気を取り入れ	E218	171

(次ページに続く)

個表番号の前に★印がある物は、
都内中小クレジット対象設備
個表番号の前に☆印がある物は、
再エネクレジット対象設備

(続き)

対策分類		対 策 名		対策番号	個表番号
対象となる設備	対策項目				
(7)ボイラ設備	ア 系統からの熱損失低減対策	(ア)	ボイラ等の配管系統の保温の実施	E219	172
		(イ)	ボイラへのエコノマイザ設置	E223	244
		(ウ)	蒸気ドレンの熱の再利用	E224	245
		(エ)	蒸気バルブ等の断熱強化	E225	226
	イ 機器の高効率化	(ア)	高効率ボイラの採用(産業用)	E220	★173
(8)炉	ア 機器からの熱損失低減対策	(ア)	断熱材等による炉の熱損失削減	E226	246
	イ 機器の高効率化	(ア)	高効率炉の導入	E227	247
		(イ)	高効率バーナの導入	E228	248
(9)ポンプ設備	ア 機器の高効率化	(ア)	高効率ポンプの導入	E229	★249
	イ モータの高効率化	(ア)	高効率モータの導入	E230	★168
	ウ 負荷に応じた制御の導入	(ア)	インバータ制御の導入	E231	169
(10)換気設備	ア 換気系統の適正化	(ア)	局所換気システムの採用	E232	250
	イ モータの高効率化	(ア)	高効率モータの導入	E233	★168
	ウ 負荷に応じた制御の導入	(ア)	インバータ制御の導入	E234	169
(11)昇降設備	ア 昇降設備の高効率化	(ア)	エレベータのインバータ制御	E235	★233
(12)受変電設備	ア 需用電力の監視	(ア)	デマンドコントローラの設置	E236	234
	イ 受変電設備の高効率化	(ア)	高効率変圧器への更新・台数集約	E237	★(更新のみ)235
		(イ)	高効率無停電電源装置の導入	E238	236
	ウ 力率の改善	(ア)	進相コンデンサ等による力率改善	E239	237
(13)中央監視設備	ア エネルギー管理システムの導入	(ア)	FEMS の導入	E240	251
(14)再生可能エネルギー	ア 再生可能エネルギーの導入	(ア)	太陽光発電設備の導入	E241	☆239
		(イ)	太陽熱利用設備の導入	E242	☆240
		(ウ)	地中熱ヒートポンプの導入	E243	241
		(エ)	バイオマス設備の導入	E244	☆242
(15)(1)から(14)まで以外の設備	ア (1)から(14)まで以外の設備	(ア)	更新に合わせた高効率機器の採用	E221	167

5.2 地球温暖化対策重点対策一覧

5.2.1 飲食系の業種

■飲食系の業種 レベル1

業種	業務部門（飲食系の業種）	項目数：31個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
		A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	推進体制の整備	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
	従業員の育成・啓発	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	11	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	加盟者との協力体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
	推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	20	☐
テナントビル の所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策 ＜全事業者＞					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
	事務用機器	C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
＜業務系＞					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
飲食系の業種	客席等の照明設備	C203	営業前後の客室不要照明の停止	73	☐
	客席等の空調設備	C208	営業前後の客室不要空調の停止	77	☐
	厨房設備	C210	加熱時間表示等による無駄の抑制	79	☐
		C212	水栓器具近傍に節水表示	81	☐
	冷凍冷蔵設備	C215	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定	84	☐
第4 設備保守対策 ＜業務部門＞					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐	
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	個別方式空調設備	D104	空調フィルターの清掃・点検	132	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D106	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
第5 設備導入対策 ＜業務部門＞					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備 （個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
事務用機器	事務用機器の高効率化	E123	トップランナー機器の採用	166	☐

■飲食系の業種 レベル2

業種	業務部門（飲食系の業種）	項目数：31個
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
本社等	推進体制の整備	A104 取組状況の点検体制の構築 4 ☐
		A105 取組内容や点検体制の定期的改善 5 ☐
		A108 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
	優良事例の共有化	A114 温暖化対策優良事例の情報収集 14 ☐
連鎖化事業者の本部※1	加盟者との協力体制の整備	A305 優良事例の店舗間共有体制の構築 31 ☐
		A307 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します		
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201 地球温暖化対策の方針等の設定 17 ☐
	推進体制の整備	A205 取組内容や点検体制の定期的改善 21 ☐
		A208 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A404 テナントへの温暖化対策協力依頼 36 ☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502 ビルで設置する推進体制への協力 40 ☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します		
第2 エネルギー等の使用状況の把握		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103 時間的に詳細に把握 44 ☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B106 過去のデータによる傾向の把握 47 ☐
		B107 主要設備の使用状況の把握 48 ☐
第3 運用対策		
<全事業者>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105 昼休み時の消灯の実施 54 ☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113 中間期における外気冷房の実施 62 ☐
		C123 温湿度の適正管理 175 ☐
	事務用機器	C115 事務用機器を業務終了時に停止 64 ☐
<業務系>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
飲食系の業種	厨房・バックヤードの照明設備	C202 バックヤードのこまめな消灯 72 ☐
	厨房・バックヤードの空調設備	C220 営業前後の厨房換気の不要時停止 182 ☐
	客席等の空調設備	C207 温度計等による室温の把握と調整 57 ☐
	冷凍冷蔵設備	C216 冷凍冷蔵庫内の収納物品位置表示 85 ☐
	その他設備	C224 看板照明点灯時間の季節別管理 179 ☐
第4 設備保守対策		
<業務部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明設備	D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 129 ☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 131 ☐
	換気設備	D105 換気フィルターの清掃・点検 133 ☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107 ボイラ等の空気比の調整 127 ☐
第5 設備導入対策		
<業務部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103 高効率照明器具の採用（屋内） 146 ☐
空気調和設備（中央熱源方式）	冷温水配管の保温	E109 空調の冷温水配管の保温の実施 152 ☐
		E127 蒸気バルブ等の断熱強化 226 ☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114 高効率パッケージの採用 157 ☐

■飲食系の業種 レベル3

業種	業務部門（飲食系の業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
テナントビル※2の所有者等	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
		C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
飲食系の業種	客席等の照明設備	C219	個室等不使用箇所のこまめな消灯	88	☐
	厨房・バックヤードの空調設備	C206	過度な換気風量の適正化	76	☐
		C209	利用状況に応じた空調の設定変更	78	☐
	客席等の空調設備	C222	客室の換気風量の適正化	183	☐
	厨房設備	C223	営業開始に合わせた加熱器具使用	184	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
換気設備	負荷に応じた制御の導入	E134	駐車場CO等濃度制御の導入	232	☐
受変電設備	力率の改善	E139	進相コンデンサ等による力率改善	237	☐

5.2.2 温水利用系の業種

■温水利用系の業種 レベル 1

業種	業務部門（温水利用系の業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
	推進体制の整備	A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	従業員の育成・啓発	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
	従業員に温暖化対策情報の提供	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	11	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	加盟者との協力体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
	推進体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
		A204	取組状況の点検体制の構築	20	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
		C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
	事務用機器	C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
温水利用系の業種	利用室等の照明設備	C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	88	☐
	利用室の空調設備	C305	利用状況に応じた空調の設定変更	78	☐
	給湯設備	C311	季節に応じた温度設定の見直し	91	☐
	給排水設備	C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	95	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	個別方式空調設備	D104	空調フィルターの清掃・点検	132	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D106	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
事務用機器	事務用機器の高効率化	E123	トップランナー機器の採用	166	☐

■ 温水利用系の業種 レベル 2

業種	業務部門（温水利用系の業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A104	取組状況の点検体制の構築	4	☐
		A105	取組内容や点検体制の定期的改善	5	☐
		A108	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
	優良事例の共有化	A114	温暖化対策優良事例の情報収集	14	☐
連鎖化事業者の本部※1	加盟者との協力体制の整備	A305	優良事例の店舗間共有体制の構築	31	☐
		A307	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	17	☐
	推進体制の整備	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	21	☐
		A208	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
テナントビル の所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	36	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	40	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103	時間的に詳細に把握	44	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	47	☐
		B107	主要設備の使用状況の把握	48	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105	昼休み時の消灯の実施	54	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113	中間期における外気冷房の実施	62	☐
		C123	温湿度の適正管理	175	☐
	事務用機器	C115	事務用機器を業務終了時に停止	64	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
温水利用系の業種	利用室の空調設備	C307	余熱利用による早めの空調停止	59	☐
	給湯設備	C313	利用客数別燃料使用量の把握	93	☐
	給排水設備	C316	利用客数別水道使用量の把握	96	☐
	その他設備	C320	看板照明点灯時間の季節別管理	179	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調調和設備 （中央熱源方式）	冷温水配管の保温	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	152	☐
		E127	蒸気バルブ等の断熱強化	226	☐
空調設備 （個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐

■ 温水利用系の業種 レベル3

業種	業務部門（温水利用系の業種）	項目数：29個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
テナントビル の所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
温水利用系の業種	利用室の空調設備	C304	利用客数の時間帯別把握	89	☐
		C312	給湯設定と使用場所の温度差把握	92	☐
	給湯設備	C314	効率的な台数でのボイラ等の運転	94	☐
		C319	蒸気の漏れ・保温の管理	185	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備 （個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
換気設備	負荷に応じた制御の導入	E134	駐車場CO等濃度制御の導入	232	☐
受変電設備	力率の改善	E139	進相コンデンサ等による力率改善	237	☐

5.2.3 宿泊型系の業種

■宿泊型系の業種 レベル 1

業種	業務部門（宿泊型系の業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
	推進体制の整備	A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	従業員の育成・啓発	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
	従業員への育成・啓発	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	11	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	加盟者との協力体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
	推進体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
		A204	取組状況の点検体制の構築	20	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
		C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
	事務用機器	C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
宿泊型系の業種	共用部および客室の空調設備	C402	利用状況に応じた空調の設定変更	78	☐
	厨房設備	C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	79	☐
	給湯設備	C409	季節に応じた温度設定の見直し	91	☐
	給排水設備	C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	95	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	個別方式空調設備	D104	空調フィルターの清掃・点検	132	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D106	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
事務用機器	事務用機器の高効率化	E123	トッランナー機器の採用	166	☐

■宿泊型系の業種 レベル2

業種	業務部門（宿泊型系の業種）	項目数：30個				
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】						
第1 組織体制の整備						
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
本社等	推進体制の整備	A104	取組状況の点検体制の構築	4	☐	
		A105	取組内容や点検体制の定期的改善	5	☐	
		A108	組織横断的な推進体制の整備	8	☐	
連鎖化事業者の本部※1	優良事例の共有化	A114	温暖化対策優良事例の情報収集	14	☐	
		A305	優良事例の店舗間共有体制の構築	31	☐	
		A307	組織横断的な推進体制の整備	8	☐	
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します						
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】						
第1 組織体制の整備						
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	17	☐	
		推進体制の整備	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	21	☐
			A208	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
テナントビル※2の所有者等	テナント等との協力体制の整備	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	36	☐	
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	40	☐	
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します						
第2 エネルギー等の使用状況の把握						
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103	時間的に詳細に把握	44	☐	
		エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	47	☐
			B107	主要設備の使用状況の把握	48	☐
第3 運用対策						
<全事業者>						
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105	昼休み時の消灯の実施	54	☐	
		C113	中間期における外気冷房の実施	62	☐	
		C123	室温の適正管理	175	☐	
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	64	☐	
<業務系>						
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
宿泊型系の業種	共用部および客室の空調設備	C417	不使用室の空調停止	186	☐	
		C418	客室清掃時の空調停止	187	☐	
	厨房設備	C421	過度な換気風量の適正化	76	☐	
		給湯設備	C423	蒸気の漏れ・保温の管理	185	☐
第4 設備保守対策						
<業務部門>						
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄		
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐	
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐	
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐	
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐	
第5 設備導入対策						
<業務部門>						
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄		
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐	
空調設備（中央熱源方式）	冷温水配管の保温	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	152	☐	
		E127	蒸気バルブ等の断熱強化	226	☐	
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐	

■宿泊型系の業種 レベル3

業種	業務部門（宿泊型系の業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
テナントビル※2の所有者等	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
宿泊型系の業種	共用部および客室の空調設備	C419	ポンプ・ファンの流量、圧力調整	180	☐
		C420	客室・共用部外調機の温度設定	188	☐
	給湯設備	C410	給湯設定と使用場所の温度差把握	92	☐
		C412	効率的な台数でのボイラ等の運転	94	☐
		C414	利用客数別水道使用量の把握	96	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の高効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
換気設備	負荷に応じた制御の導入	E134	駐車場CO等濃度制御の導入	232	☐
受変電設備	力率の改善	E139	進相コンデンサ等による力率改善	237	☐

5.2.4 飲食系、温水利用系、宿泊型系以外のサービス系の業種

■飲食系、温水利用系、宿泊型系以外のサービス系の業種 レベル 1

業種	業務部門（飲食、温水利用、宿泊型系以外のサービス系の業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
	推進体制の整備	A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	従業員の育成・啓発	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
	従業員との協力体制の整備	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	11	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	加盟者との協力体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
	推進体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
	取組状況の点検体制の構築	A204		20	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
	事務用機器	C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
飲食、温水利用、宿泊型系以外の業種	客室等の照明設備	C501	客室等不使用箇所のこまめな消灯	88	☐
	客室等の空調設備	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	78	☐
	客室等の空調設備	C506	余熱利用による早めの空調停止	59	☐
	客室等の空調設備	C508	空室・不在時等の空調停止	58	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	個別方式空調設備	D104	空調フィルターの清掃・点検	132	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D106	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の高効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
事務用機器	事務用機器の高効率化	E123	トップランナー機器の採用	166	☐

■飲食系、温水利用系、宿泊型系以外のサービス系の業種 レベル2

業種	業務部門（飲食、温水利用、宿泊型系以外のサービス系の業種）	項目数：30個		
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】				
第1 組織体制の整備				
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄		
本社等	推進体制の整備	A104 取組状況の点検体制の構築	4	☐
		A105 取組内容や点検体制の定期的改善	5	☐
		A108 組織横断的な推進体制の整備	8	☐
	優良事例の共有化	A114 温暖化対策優良事例の情報収集	14	☐
連鎖化事業者の本部※1	加盟者との協力体制の整備	A305 優良事例の店舗間共有体制の構築	31	☐
		A307 組織横断的な推進体制の整備	8	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します				
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】				
第1 組織体制の整備				
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄		
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201 地球温暖化対策の方針等の設定	17	☐
	推進体制の整備	A205 取組内容や点検体制の定期的改善	21	☐
		A208 組織横断的な推進体制の整備	8	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A404 テナントへの温暖化対策協力依頼	36	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502 ビルで設置する推進体制への協力	40	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します				
第2 エネルギー等の使用状況の把握				
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄		
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103 時間的に詳細に把握	44	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B106 過去のデータによる傾向の把握	47	☐
		B107 主要設備の使用状況の把握	48	☐
第3 運用対策				
<全事業者>				
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄		
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105 昼休み時の消灯の実施	54	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113 中間期における外気冷房の実施	62	☐
		C123 温湿度の適正管理	175	☐
	事務用機器	C115 事務用機器を業務終了時に停止	64	☐
<業務系>				
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄		
飲食、温水利用、宿泊型系以外の業種	客室等の照明設備	C502 採光を利用した消灯の実施	53	☐
	客室等の空調設備	C503 利用客数の時間帯別把握	89	☐
		C512 進入外気に伴う空調負荷の低減	177	☐
	共用設備	C517 看板照明点灯時間の季節別管理	179	☐
第4 設備保守対策				
<業務部門>				
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄		
照明設備	屋内照明設備	D101 ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103 中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105 換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107 ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策				
<業務部門>				
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄		
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103 高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空気調和設備（中央熱源方式）	冷温水配管の保温	E109 空調の冷温水配管の保温の実施	152	☐
		E127 蒸気バルブ等の断熱強化	226	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114 高効率パッケージの採用	157	☐

■飲食系、温水利用系、宿泊型系以外のサービス系の業種 レベル3

業種	業務部門（飲食、温水利用、宿泊型系以外のサービス系の業種）	項目数：29個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
		A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	外部の専門家との連携	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
	従業員の育成・啓発	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
		C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
飲食、温水利用、宿泊型系以外の業種	客室等の空調設備	C509	中央熱源機器等の季節設定実施	90	☐
		C514	自動販売機の休日・夜間照明停止	67	☐
	共用設備	C516	外灯等の点灯時間の季節別管理	69	☐
	給排水設備	C524	水道メータ等で漏水の有無の点検	95	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
換気設備	負荷に応じた制御の導入	E134	駐車場CO等濃度制御の導入	232	☐
受変電設備	力率の改善	E139	進相コンデンサ等による力率改善	237	☐

5.2.5 食品小売系の業種

■食品小売系の業種 レベル 1

業種	業務部門（食品小売系の業種）	項目数：31個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
		A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	推進体制の整備	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
		A111	従業員の育成・啓発	11	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	加盟者との協力体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
	A204	取組状況の点検体制の構築	20	☐	
テナントビル の所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
食品小売系の業種	売り場等の照明設備	C602	営業前後の売り場不要照明の停止	97	☐
	売り場等の空調設備	C608	余熱利用による早めの空調停止	59	☐
	冷凍冷蔵設備	C612	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定	84	☐
		C614	ショーケースナイトカバーの使用	99	☐
		C615	冷気吹出し・吸込口の陳列物整理	100	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	個別方式空調設備	D104	空調フィルターの清掃・点検	132	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D106	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備 （個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
事務用機器	事務用機器の高効率化	E123	トップランナー機器の採用	166	☐

■食品小売系の業種 レベル2

業種	業務部門（食品小売系の業種）	項目数：32個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A104	取組状況の点検体制の構築	4	☐
		A105	取組内容や点検体制の定期的改善	5	☐
		A108	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
連鎖化事業者の本部※1	優良事例の共有化	A114	温暖化対策優良事例の情報収集	14	☐
		A305	優良事例の店舗間共有体制の構築	31	☐
		A307	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	17	☐
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	21	☐
		A208	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
テナントビル※2の所有者等	テナント等との協力体制の整備	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	36	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	40	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103	時間的に詳細に把握	44	☐
		B106	過去のデータによる傾向の把握	47	☐
		B107	主要設備の使用状況の把握	48	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105	昼休み時の消灯の実施	54	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113	中間期における外気冷房の実施	62	☐
		C123	温湿度の適正管理	175	☐
	事務用機器	C115	事務用機器を業務終了時に停止	64	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
食品小売系の業種	売り場等の照明設備	C603	バックヤードのこまめな消灯	72	☐
	売り場等の空調設備	C605	利用客数の時間帯別把握	89	☐
	厨房・バックヤードの空調設備	C620	営業前後の厨房換気の不要時停止	182	☐
	厨房設備	C626	営業開始に合わせた加熱器具使用	184	☐
	冷凍冷蔵設備	C627	ショーケース除霜装置冬期等調整	189	☐
	共用設備	C632	外灯等の点灯時間の季節別管理	69	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空気調和設備（中央熱源方式）	冷温水配管の保温	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	152	☐
		E127	蒸気バルブ等の断熱強化	226	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐

■食品小売系の業種 レベル3

業種	業務部門（食品小売系の業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
テナントビル※2の所有者等	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
食品小売系の業種	売り場等の空調設備	C606	利用状況に応じた空調の設定変更	78	☐
	厨房・バックヤードの空調設備	C619	過度な換気風量の適正化	76	☐
	冷凍冷蔵設備	C628	冷凍機の管理・運転適正化	190	☐
		C630	自動販売機の休日・夜間照明停止	67	☐
	共用設備	C634	看板照明点灯時間の季節別管理	179	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
換気設備	負荷に応じた制御の導入	E134	駐車場CO等濃度制御の導入	232	☐
受変電設備	力率の改善	E139	進相コンデンサ等による力率改善	237	☐

5.2.6 食品小売系以外の小売系の業種

■食品小売系以外の小売系の業種 レベル 1

業種	業務部門（食品小売系以外の小売系の業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
	推進体制の整備	A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	従業員の育成・啓発	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
	従業員への育成・啓発	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	11	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	加盟者との協力体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
	推進体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
		A204	取組状況の点検体制の構築	20	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
		C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
	事務用機器	C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
食品小売系以外の小売系の業種	売場等の照明設備	C702	営業前後の売り場不要照明の停止	97	☐
	売場等の空調設備	C703	バックヤードのこまめな消灯	72	☐
		C706	利用状況に応じた空調の設定変更	78	☐
		C708	余熱利用による早めの空調停止	59	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	個別方式空調設備	D104	空調フィルターの清掃・点検	132	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D106	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
事務用機器	事務用機器の高効率化	E123	トッランナー機器の採用	166	☐

■食品小売系以外の小売系の業種 レベル 2

業種	業務部門（食品小売系以外の小売系の業種）	項目数：30個
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
本社等	推進体制の整備	A104 取組状況の点検体制の構築 4 ☐
		A105 取組内容や点検体制の定期的改善 5 ☐
		A108 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
連鎖化事業者の本部※1	優良事例の共有化	A114 温暖化対策優良事例の情報収集 14 ☐
		A305 優良事例の店舗間共有体制の構築 31 ☐
		A307 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します		
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201 地球温暖化対策の方針等の設定 17 ☐
		A205 取組内容や点検体制の定期的改善 21 ☐
		A208 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
テナントビル※2の所有者等	テナント等との協力体制の整備	A404 テナントへの温暖化対策協力依頼 36 ☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502 ビルで設置する推進体制への協力 40 ☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します		
第2 エネルギー等の使用状況の把握		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103 時間的に詳細に把握 44 ☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B106 過去のデータによる傾向の把握 47 ☐
		B107 主要設備の使用状況の把握 48 ☐
第3 運用対策		
<全事業者>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105 昼休み時の消灯の実施 54 ☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113 中間期における外気冷房の実施 62 ☐
		C123 室温の適正管理 175 ☐
		C115 事務用機器を業務終了時に停止 64 ☐
<業務系>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
食品小売系以外の小売系の業種	売場等の照明設備	C704 スポット照明の照射位置調整 98 ☐
	売場等の空調設備	C705 利用客数の時間帯別把握 89 ☐
	共用設備	C718 外灯等の点灯時間の季節別管理 69 ☐
		C720 看板照明点灯時間の季節別管理 179 ☐
第4 設備保守対策		
<業務部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明設備	D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 129 ☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 131 ☐
	換気設備	D105 換気フィルターの清掃・点検 133 ☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107 ボイラ等の空気比の調整 127 ☐
第5 設備導入対策		
<業務部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103 高効率照明器具の採用（屋内） 146 ☐
空調設備（中央熱源方式）	冷温水配管の保温	E109 空調の冷温水配管の保温の実施 152 ☐
		E127 蒸気バルブ等の断熱強化 226 ☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114 高効率パッケージの採用 157 ☐

■食品小売系以外の小売系の業種 レベル3

業種	業務部門（食品小売系以外の小売系の業種）		項目数：29個
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】			
第1 組織体制の整備			
実施主体	対策項目	対策番号	対策名
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援
		A107	排出状況の整理・分析・提供
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します			
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】			
第1 組織体制の整備			
実施主体	対策項目	対策番号	対策名
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供
テナントビル※2の所有者等	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します			
第2 エネルギー等の使用状況の把握			
実施主体	対策項目	対策番号	対策名
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
第3 運用対策			
<全事業者>			
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	執務室、共用部等の空調設備	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
<業務系>			
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名
食品小売系以外の小売系の業種	売場等の空調設備	C711	中央熱源機器等の季節設定実施
		C714	進入外気に伴う空調負荷の低減
	共用設備	C716	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C719	屋内駐車場換気の不要時間の停止
第4 設備保守対策			
<業務部門>			
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整
第5 設備導入対策			
<業務部門>			
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用
換気設備	負荷に応じた制御の導入	E134	駐車場CO等濃度制御の導入
受変電設備	力率の改善	E139	進相コンデンサ等による力率改善

5.2.7 テナントビルの所有者等

■テナントビルの所有者等 レベル1

業種	業務部門（テナントビルの所有者等）	項目数：30個
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101 地球温暖化対策の方針等の設定 1 ☐
	推進体制の整備	A102 温暖化対策推進担当の配置 2 ☐
	従業員の育成・啓発	A103 具体的な取組目標と内容の設定 3 ☐
	従業員に温暖化対策情報の提供	A111 全従業員に温暖化対策情報の提供 11 ☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A301 各店舗の排出量整理・分析・提供 27 ☐
	加盟者との協力体制の整備	A304 温暖化対策への協力依頼 30 ☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します		
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202 温暖化対策推進担当の配置 18 ☐
	推進体制の整備	A203 具体的な取組目標と内容の設定 19 ☐
	取組状況の点検体制の構築	A204 取組状況の点検体制の構築 20 ☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401 テナントにエネルギー使用量提供 33 ☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501 ビル所有者の対策や要請に協力 39 ☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します		
第2 エネルギー等の使用状況の把握		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 42 ☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B102 関連他者からの情報を加えて把握 43 ☐
	エネルギー使用量の前年度比較	B105 エネルギー使用量の前年度比較 46 ☐
第3 運用対策		
<全事業者>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101 空室・不在時等のこまめな消灯 50 ☐
	執務室、共用部等の空調設備	C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 55 ☐
	執務室、共用部等の空調設備	C109 空室・不在時等の空調停止 58 ☐
	事務用機器	C114 事務用機器を省エネモードに設定 63 ☐
<業務系>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
テナントビルの所有者等	共用部の照明設備	C801 共用部照明のフロアごとの管理 101 ☐
	共用部の空調設備	C803 フロア共用部の温度の把握・設定 103 ☐
	共用部の空調設備	C804 共用部のフロアごとの空調の管理 104 ☐
	共用部の空調設備	C805 中央熱源機器等の季節設定実施 90 ☐
第4 設備保守対策		
<業務部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明設備	D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 129 ☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 131 ☐
	個別方式空調設備	D104 空調フィルターの清掃・点検 132 ☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D106 ボイラ等の定期点検の実施 134 ☐
第5 設備導入対策		
<業務部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内ランプの高効率化	E101 高効率照明ランプの採用（屋内） 144 ☐
	屋内照明器具の高効率化	E103 高効率照明器具の採用（屋内） 146 ☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114 高効率パッケージの採用 157 ☐
事務用機器	事務用機器の高効率化	E123 トップランナー機器の採用 166 ☐

■テナントビルの所有者等 レベル2

業種	業務部門（テナントビルの所有者等）	項目数：30個		
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】				
第1 組織体制の整備				
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄		
本社等	推進体制の整備	A104 取組状況の点検体制の構築	4	☐
		A105 取組内容や点検体制の定期的改善	5	☐
		A108 組織横断的な推進体制の整備	8	☐
	優良事例の共有化	A114 温暖化対策優良事例の情報収集	14	☐
連鎖化事業者の本部※1	加盟者との協力体制の整備	A305 優良事例の店舗間共有体制の構築	31	☐
		A307 組織横断的な推進体制の整備	8	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します				
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】				
第1 組織体制の整備				
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄		
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201 地球温暖化対策の方針等の設定	17	☐
	推進体制の整備	A205 取組内容や点検体制の定期的改善	21	☐
		A208 組織横断的な推進体制の整備	8	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A404 テナントへの温暖化対策協力依頼	36	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502 ビルで設置する推進体制への協力	40	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します				
第2 エネルギー等の使用状況の把握				
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄		
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103 時間的に詳細に把握	44	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B106 過去のデータによる傾向の把握	47	☐
		B107 主要設備の使用状況の把握	48	☐
第3 運用対策				
<全事業者>				
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄		
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105 昼休み時の消灯の実施	54	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113 中間期における外気冷房の実施	62	☐
		C123 温湿度の適正管理	175	☐
	事務用機器	C115 事務用機器を業務終了時に停止	64	☐
<業務系>				
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄		
テナントビルの所有者等	共用設備	C811 自動販売機の休日・夜間照明停止	67	☐
		C813 外灯等の点灯時間の季節別管理	69	☐
		C814 屋内駐車場換気の不要時間の停止	70	☐
	給湯設備	C817 季節に応じた温度設定の見直し	91	☐
第4 設備保守対策				
<業務部門>				
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄		
照明設備	屋内照明設備	D101 ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103 中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105 換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107 ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策				
<業務部門>				
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄		
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103 高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空気調和設備（中央熱源方式）	冷温水配管の保温	E109 空調の冷温水配管の保温の実施	152	☐
		E127 蒸気バルブ等の断熱強化	226	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114 高効率パッケージの採用	157	☐

■テナントビルの所有者等 レベル3

業種	業務部門（テナントビルの所有者等）	項目数：29個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
テナントビルの所有者等	共用部の照明設備	C802	階段照明の管理手法の検討・実施	102	☐
	共用設備	C812	自動販売機の不要時の停止	68	☐
		C815	看板照明点灯時間の季節別管理	179	☐
	昇降設備	C818	エレベータ運転台数の制限	181	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
換気設備	負荷に応じた制御の導入	E134	駐車場CO等濃度制御の導入	232	☐
受変電設備	力率の改善	E139	進相コンデンサ等による力率改善	237	☐

5.2.8 情報処理を主とする業種

■情報処理を主とする業種 レベル1

業種	業務部門（情報処理を主とする業種）	項目数：31個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
		A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	推進体制の整備	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
	従業員の育成・啓発	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	11	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	加盟者との協力体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
	推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	20	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
		C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
	事務用機器	C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
情報処理を主とする業種	受変電設備	CA08	受電力率の把握・記録	112	☐
	サーバーーム内のラック	CA10	電力効率(PUE)等の把握	191	☐
		CA12	ラック内の適正な機器配置	193	☐
		CA16	サーバーームの温度監視	197	☐
	サーバーームの空調設備	CA17	エアフローの把握と調整	198	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	個別方式空調設備	D104	空調フィルターの清掃・点検	132	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D106	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
事務用機器	事務用機器の高効率化	E123	トップランナー機器の採用	166	☐

■情報処理を主とする業種 レベル2

業種	業務部門（情報処理を主とする業種）	項目数：31個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A104	取組状況の点検体制の構築	4	☐
		A105	取組内容や点検体制の定期的改善	5	☐
		A108	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
	優良事例の共有化	A114	温暖化対策優良事例の情報収集	14	☐
連鎖化事業者の本部※1	加盟者との協力体制の整備	A305	優良事例の店舗間共有体制の構築	31	☐
		A307	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	17	☐
	推進体制の整備	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	21	☐
		A208	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
テナントビル※2の所有者等	テナント等との協力体制の整備	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	36	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	40	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103	時間的に詳細に把握	44	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	47	☐
		B107	主要設備の使用状況の把握	48	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105	昼休み時の消灯の実施	54	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113	中間期における外気冷房の実施	62	☐
		C123	室温の適正管理	175	☐
		事務用機器	C115	事務用機器を業務終了時に停止	64
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
情報処理を主とする業種	サーバーーム内のラック	CA13	冷却効率を考慮した配線の実施	194	☐
	IT機器	CA14	機器ごとの電力消費量の監視	195	☐
		CA18	熱だまりの把握と局所的な冷却	199	☐
		CA20	整流板等による気流の制御	201	☐
	サーバーームの空調設備	CA23	床下ケーブル整理による気流改善	204	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（中央熱源方式）	冷温水配管の保温	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	152	☐
		E127	蒸気バルブ等の断熱強化	226	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐

■情報処理を主とする業種 レベル3

業種	業務部門（情報処理を主とする業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
テナントビル※2の所有者等	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
		C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
情報処理を主とする業種	サーバーーム内のラック	CA11	ラック内高温・低温空間の分離	192	☐
	IT機器	CA15	不要な機器の電源オフ	196	☐
		CA19	サーバー室内高温・低温空間の分離	200	☐
	サーバーームの空調設備	CA22	解析ソフト等による熱気流把握	203	☐
		CA24	負荷に応じた空調機運転台数制御	205	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
換気設備	負荷に応じた制御の導入	E134	駐車場CO等濃度制御の導入	232	☐
受変電設備	力率の改善	E139	進相コンデンサ等による力率改善	237	☐

5.2.9 教育・研究系の業種

■教育・研究系の業種 レベル 1

業種	業務部門（教育・研究系の業種）	項目数：30個
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101 地球温暖化対策の方針等の設定 1 ☐
		A102 温暖化対策推進担当の配置 2 ☐
	推進体制の整備	A103 具体的な取組目標と内容の設定 3 ☐
	従業員の育成・啓発	A111 全従業員に温暖化対策情報の提供 11 ☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A301 各店舗の排出量整理・分析・提供 27 ☐
	加盟者との協力体制の整備	A304 温暖化対策への協力依頼 30 ☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します		
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202 温暖化対策推進担当の配置 18 ☐
		A203 具体的な取組目標と内容の設定 19 ☐
	推進体制の整備	A204 取組状況の点検体制の構築 20 ☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401 テナントにエネルギー使用量提供 33 ☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501 ビル所有者の対策や要請に協力 39 ☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します		
第2 エネルギー等の使用状況の把握		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 42 ☐
		B102 関連他者からの情報を加えて把握 43 ☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B105 エネルギー使用量の前年度比較 46 ☐
第3 運用対策		
<全事業者>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101 空室・不在時等のこまめな消灯 50 ☐
		C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 55 ☐
	執務室、共用部等の空調設備	C109 空室・不在時等の空調停止 58 ☐
	事務用機器	C114 事務用機器を省エネモードに設定 63 ☐
<業務系>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
教育・研究系の業種	教室等の照明設備	CB04 採光を利用した消灯の実施 53 ☐
	調理室の照明設備	CB21 バックヤードのこまめな消灯 72 ☐
	給食室・食堂等の空調設備	CB27 営業前後の客室不要空調の停止 77 ☐
	研究設備	CB37 4S（整理・整頓等）の実施 206 ☐
第4 設備保守対策		
<業務部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明設備	D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 129 ☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103 中央熱源機器等の定期点検の実施 131 ☐
	個別方式空調設備	D104 空調フィルターの清掃・点検 132 ☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D106 ボイラ等の定期点検の実施 134 ☐
第5 設備導入対策		
<業務部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内ランプの高効率化	E101 高効率照明ランプの採用（屋内） 144 ☐
	屋内照明器具の高効率化	E103 高効率照明器具の採用（屋内） 146 ☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114 高効率パッケージの採用 157 ☐
事務用機器	事務用機器の高効率化	E123 トップランナー機器の採用 166 ☐

■教育・研究系の業種 レベル2

業種	業務部門（教育・研究系の業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A104	取組状況の点検体制の構築	4	☐
		A105	取組内容や点検体制の定期的改善	5	☐
		A108	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
		優良事例の共有化	A114	温暖化対策優良事例の情報収集	14
連鎖化事業者の本部※1	加盟者との協力体制の整備	A305	優良事例の店舗間共有体制の構築	31	☐
		A307	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	17	☐
	推進体制の整備	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	21	☐
		A208	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
テナントビル※2の所有者等	テナント等との協力体制の整備	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	36	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	40	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103	時間的に詳細に把握	44	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	47	☐
		B107	主要設備の使用状況の把握	48	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105	昼休み時の消灯の実施	54	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113	中間期における外気冷房の実施	62	☐
		C123	室温の適正管理	175	☐
		事務用機器	C115	事務用機器を業務終了時に停止	64
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
教育・研究系の業種	教室等の空調設備	CB10	余熱利用による早めの空調停止	59	☐
	給食室・食堂等の照明設備	CB22	営業前後の客室不要照明の停止	73	☐
	研究設備	CB39	運転方法ルール化と不使用時停止	208	☐
	給排水設備	CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検	95	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（中央熱源方式）	冷温水配管の保温	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	152	☐
		E127	蒸気バルブ等の断熱強化	226	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐

■教育・研究系の業種 レベル3

業種	業務部門（教育・研究系の業種）	項目数：29個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
テナントビル※2の所有者等	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
<業務系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
教育・研究系の業種	共用設備	CB18	外灯等の点灯時間の季節別管理	69	☐
	調理室の空調設備	CB25	過度な換気風量の適正化	76	☐
	給食室・食堂等の空調設備	CB28	利用状況に応じた空調の設定変更	78	☐
	受変電設備	CB46	受電力率の把握・記録	112	☐
第4 設備保守対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	中央熱源方式空調設備	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	131	☐
	換気設備	D105	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
給湯設備	中央方式給湯設備	D107	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<業務部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E114	高効率パッケージの採用	157	☐
換気設備	負荷に応じた制御の導入	E134	駐車場CO等濃度制御の導入	232	☐
受変電設備	力率の改善	E139	進相コンデンサ等による力率改善	237	☐

5.2.10 加熱・乾燥を行う業種

■加熱・乾燥を行う業種 レベル 1

業種	産業部門（加熱・乾燥を行う業種）	項目数：31個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
	推進体制の整備	A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	従業員の育成・啓発	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
連鎖化事業者の本部※1	従業員の育成・啓発	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	11	☐
	推進体制の整備	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	加盟者との協力体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
	推進体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
		A204	取組状況の点検体制の構築	20	☐
テナントビル の所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
		C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
	事務用機器	C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
<産業系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
加熱・乾燥を行う業種	産業設備全般	CC01	4S（整理・整頓等）の実施	105	☐
		CC03	装置停止時の補機の停止	214	☐
	生産設備	CC05	運転方法ルール化と不使用時停止	108	☐
	ボイラ設備	CC20	不要系統への蒸気供給の停止	123	☐
	加熱・乾燥設備	CC26	炉等の温度・圧力の管理	215	☐
第4 設備保守対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
空調・換気設備	個別方式空調設備	D204	空調フィルターの清掃・点検	132	☐
生産設備		D206	動力伝達部の定期的な点検	136	☐
コンプレッサ設備		D209	空気系統のエア漏れ補修	139	☐
ボイラ設備		D213	蒸気系統の蒸気漏れ補修	142	☐
第5 設備導入対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E201	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備 （個別方式）	空調機の効率化	E214	高効率パッケージの採用	157	☐
ボイラ設備	系統からの熱損失低減対策	E219	ボイラ等の配管系統の保温の実施	172	☐

■加熱・乾燥を行う業種 レベル2

業種	産業部門（加熱・乾燥を行う業種）		項目数：31個
【地球温暖化対策報告書様式（その1） 本社等が記載すべき実施状況】			
第1 組織体制の整備			
実施主体	対策項目	対策番号	対策名
本社等	推進体制の整備	A104	取組状況の点検体制の構築
		A105	取組内容や点検体制の定期的改善
		A108	組織横断的な推進体制の整備
		A114	温暖化対策優良事例の情報収集
連鎖化事業者の本部※1	加盟者との協力体制の整備	A305	優良事例の店舗間共有体制の構築
		A307	組織横断的な推進体制の整備
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します			
【地球温暖化対策報告書様式（その2） 各事業所等が記載すべき実施状況】			
第1 組織体制の整備			
実施主体	対策項目	対策番号	対策名
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A208	組織横断的な推進体制の整備
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します			
第2 エネルギー等の使用状況の把握			
実施主体	対策項目	対策番号	対策名
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103	時間的に詳細に把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握
		B107	主要設備の使用状況の把握
第3 運用対策			
<全事業者>			
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105	昼休み時の消灯の実施
		C113	中間期における外気冷房の実施
		C123	温湿度の適正管理
		C115	事務用機器を業務終了時に停止
<産業系>			
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名
加熱・乾燥を行う業種	生産設備	CC07	効率の良い機器を優先的に使用
	受変電設備	CC09	受電力率の把握・記録
	ボイラ設備	CC21	暖機運転時間の短縮
		CC23	蒸気圧力の適正化
	加熱・乾燥設備	CC27	炉壁放熱量の把握
第4 設備保守対策			
<産業部門>			
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号
照明設備	屋内照明設備	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換
空調・換気設備	換気設備	D205	換気フィルターの清掃・点検
生産設備		D206	動力伝達部の定期的な点検
ボイラ設備		D217	ボイラ等の空気比の調整
第5 設備導入対策			
<産業部門>			
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）
空調設備（個別方式）	空調機の高効率化	E214	高効率パッケージの採用
ボイラ設備	系統からの熱損失低減対策	E225	蒸気バルブ等の断熱強化
受変電設備	力率の改善	E239	進相コンデンサ等による力率改善

■加熱・乾燥を行う業種 レベル3

業種	産業部門（加熱・乾燥を行う業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
		A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐	
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
		C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
<産業系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
加熱・乾燥を行う業種	生産設備	CC08	効率的な台数での生産設備の運転	111	☐
	ボイラ設備	CC24	効率的な台数でのボイラ等の運転	94	☐
	加熱・乾燥設備	CC28	加熱工程の把握と改善	217	☐
		CC29	炉等の空気比の適正化	218	☐
		CC30	炉等の開口部の熱損失の低減	219	☐
第4 設備保守対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
生産設備		D206	動力伝達部の定期的な点検	136	☐
ボイラ設備		D211	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
		D217	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E214	高効率パッケージの採用	157	☐
作業場の空調設備	空調範囲の適正化	E222	局所空調の導入	243	☐
ポンプ設備	負荷に応じた制御の導入	E231	インバータ制御の導入	169	☐

5.2.11 加工・組立を行う業種

■加工・組立を行う業種 レベル 1

業種	産業部門（加工・組立を行う業種）	項目数：31個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
		A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	推進体制の整備	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
		A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	11	☐
連鎖化事業者の本部※1	従業員の育成・啓発	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	推進体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
	加盟者との協力体制の整備				
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
	推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	20	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
		C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
	事務用機器	C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
<産業系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
加工・組立を行う業種	産業設備全般	CD01	4S（整理・整頓等）の実施	105	☐
		CD03	装置停止時の補機の停止	214	☐
	生産設備	CD05	運転方法ルール化と不使用時停止	108	☐
		CD06	生産設備電流電圧の日常的な記録	109	☐
	ボイラ設備	CD21	不要系統への蒸気供給の停止	123	☐
第4 設備保守対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
空調・換気設備	個別方式空調設備	D204	空調フィルターの清掃・点検	132	☐
生産設備		D206	動力伝達部の定期的な点検	136	☐
コンプレッサ設備		D209	空気系統のエア漏れ補修	139	☐
ボイラ設備		D213	蒸気系統の蒸気漏れ補修	142	☐
第5 設備導入対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E201	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E214	高効率パッケージの採用	157	☐
ボイラ設備	系統からの熱損失低減対策	E219	ボイラ等の配管系統の保温の実施	172	☐

■加工・組立を行う業種 レベル2

業種	産業部門（加工・組立を行う業種）	項目数：31個
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
本社等	推進体制の整備	A104 取組状況の点検体制の構築 4 ☐
		A105 取組内容や点検体制の定期的改善 5 ☐
		A108 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
		A114 温暖化対策優良事例の情報収集 14 ☐
連鎖化事業者の本部※1	加盟者との協力体制の整備	A305 優良事例の店舗間共有体制の構築 31 ☐
		A307 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します		
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201 地球温暖化対策の方針等の設定 17 ☐
	推進体制の整備	A205 取組内容や点検体制の定期的改善 21 ☐
		A208 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A404 テナントへの温暖化対策協力依頼 36 ☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502 ビルで設置する推進体制への協力 40 ☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します		
第2 エネルギー等の使用状況の把握		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103 時間的に詳細に把握 44 ☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B106 過去のデータによる傾向の把握 47 ☐
		B107 主要設備の使用状況の把握 48 ☐
第3 運用対策		
<全事業者>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105 昼休み時の消灯の実施 54 ☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113 中間期における外気冷房の実施 62 ☐
		C123 温湿度の適正管理 175 ☐
	事務用機器	C115 事務用機器を業務終了時に停止 64 ☐
<産業系>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
加工・組立を行う業種	生産設備	CD07 効率の良い機器を優先的に使用 110 ☐
	受変電設備	CD10 受電力率の把握・記録 112 ☐
	コンプレッサ設備	CD14 空気系統のエア漏れ確認 116 ☐
	ボイラ設備	CD22 暖機運転時間の短縮 124 ☐
		CD24 蒸気圧力の適正化 126 ☐
第4 設備保守対策		
<産業部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明設備	D201 ランプ等の定期的な清掃・交換 129 ☐
空調・換気設備	換気設備	D205 換気フィルターの清掃・点検 133 ☐
生産設備		D206 動力伝達部の定期的な点検 136 ☐
ボイラ設備		D217 ボイラ等の空気比の調整 127 ☐
第5 設備導入対策		
<産業部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E203 高効率照明器具の採用（屋内） 146 ☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E214 高効率パッケージの採用 157 ☐
ボイラ設備	系統からの熱損失低減対策	E225 蒸気バルブ等の断熱強化 226 ☐
受変電設備	力率の改善	E239 進相コンデンサ等による力率改善 237 ☐

加工・組立を行う業種 レベル3

業種	産業部門（加工・組立を行う業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
		A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
	テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策 ＜全事業者＞					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
＜産業系＞					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
加工・組立を行う業種	生産設備	CD08	効率的な台数での生産設備の運転	111	☐
		CD09	生産ラインの見直し・集約化	220	☐
	コンプレッサ設備	CD16	コンプレッサ吐出圧力の適正化	118	☐
	ボイラ設備	CD25	効率的な台数でのボイラ等の運転	94	☐
	換気設備	CD27	換気風量の適正化	221	☐
第4 設備保守対策 ＜産業部門＞					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
生産設備		D206	動力伝達部の定期的な点検	136	☐
ボイラ設備		D211	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
		D217	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策 ＜産業部門＞					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E214	高効率パッケージの採用	157	☐
作業場の空調設備	空調範囲の適正化	E222	局所空調の導入	243	☐
ポンプ設備	負荷に応じた制御の導入	E231	インバータ制御の導入	169	☐

5.2.12 精密加工・薬品製造等を行う業種

■精密加工・薬品製造等を行う業種 レベル 1

業種	産業部門（精密加工・薬品製造等を行う業種）	項目数：31個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
		A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	推進体制の整備	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
	従業員の育成・啓発	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	11	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	加盟者との協力体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
	推進体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
		A204	取組状況の点検体制の構築	20	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
		C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
	事務用機器	C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
<産業系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
精密加工・薬品製造等を行う業種	産業設備全般	CE01	4S（整理・整頓等）の実施	105	☐
		CE03	装置停止時の補機の停止	214	☐
	生産設備	CE05	運転方法ルール化と不使用時停止	108	☐
	コンプレッサ設備	CE13	空気系統のエア漏れ確認	116	☐
	作業場の空調設備	CE26	温湿度の適正管理	175	☐
第4 設備保守対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
空調・換気設備	個別方式空調設備	D204	空調フィルターの清掃・点検	132	☐
生産設備		D206	動力伝達部の定期的な点検	136	☐
コンプレッサ設備		D209	空気系統のエア漏れ補修	139	☐
ボイラ設備		D213	蒸気系統の蒸気漏れ補修	142	☐
第5 設備導入対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E201	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E214	高効率パッケージの採用	157	☐
ボイラ設備	系統からの熱損失低減対策	E219	ボイラ等の配管系統の保温の実施	172	☐

■精密加工・薬品製造等を行う業種 レベル2

業種	産業部門（精密加工・薬品製造等を行う業種）	項目数：31個
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
本社等	推進体制の整備	A104 取組状況の点検体制の構築 4 ☐
		A105 取組内容や点検体制の定期的改善 5 ☐
		A108 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
		A114 温暖化対策優良事例の情報収集 14 ☐
連鎖化事業者の本部※1	加盟者との協力体制の整備	A305 優良事例の店舗間共有体制の構築 31 ☐
		A307 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します		
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201 地球温暖化対策の方針等の設定 17 ☐
	推進体制の整備	A205 取組内容や点検体制の定期的改善 21 ☐
		A208 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A404 テナントへの温暖化対策協力依頼 36 ☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502 ビルで設置する推進体制への協力 40 ☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します		
第2 エネルギー等の使用状況の把握		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103 時間的に詳細に把握 44 ☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B106 過去のデータによる傾向の把握 47 ☐
		B107 主要設備の使用状況の把握 48 ☐
第3 運用対策		
<全事業者>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105 昼休み時の消灯の実施 54 ☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113 中間期における外気冷房の実施 62 ☐
		C123 温湿度の適正管理 175 ☐
	事務用機器	C115 事務用機器を業務終了時に停止 64 ☐
<産業系>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
精密加工・薬品製造等を行う業種	生産設備	CE07 効率の良い機器を優先的に使用 110 ☐
	受変電設備	CE09 受電効率の把握・記録 112 ☐
	コンプレッサ設備	CE15 コンプレッサ吐出圧力の適正化 118 ☐
	作業場の空調設備	CE27 工程や作業用途に応じた風量管理 210 ☐
		CE28 操業状態に応じた運転・停止 211 ☐
第4 設備保守対策		
<産業部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明設備	D201 ランプ等の定期的な清掃・交換 129 ☐
空調・換気設備	換気設備	D205 換気フィルターの清掃・点検 133 ☐
生産設備		D206 動力伝達部の定期的な点検 136 ☐
ボイラ設備		D217 ボイラ等の空気比の調整 127 ☐
第5 設備導入対策		
<産業部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E203 高効率照明器具の採用（屋内） 146 ☐
空調設備（個別方式）	空調機の高効率化	E214 高効率パッケージの採用 157 ☐
ボイラ設備	系統からの熱損失低減対策	E225 蒸気バルブ等の断熱強化 226 ☐
受変電設備	力率の改善	E239 進相コンデンサ等による力率改善 237 ☐

■精密加工・薬品製造等を行う業種 レベル3

業種	産業部門（精密加工・薬品製造等を行う業種）	項目数：29個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者 の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
テナントビル の所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策 ＜全事業者＞					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
＜産業系＞					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
精密加工・薬 品製造等を行 う業種	生産設備	CE08	効率的な台数での生産設備の運転	111	☐
	コンプレッサ設備	CE16	コンプレッサ運転台数の適正化	119	☐
		CE29	循環風量の適正化	212	☐
	作業場の空調設備	CE30	外気量の適正化	213	☐
第4 設備保守対策 ＜産業部門＞					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
生産設備		D206	動力伝達部の定期的な点検	136	☐
ボイラ設備		D211	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
		D217	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策 ＜産業部門＞					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備 （個別方式）	空調機の効率化	E214	高効率パッケージの採用	157	☐
作業場の空調設備	空調範囲の適正化	E222	局所空調の導入	243	☐
ポンプ設備	負荷に応じた制御の導入	E231	インバータ制御の導入	169	☐

5.2.13 食料品を加工・製造する業種

■食料品を加工・製造する業種 レベル1

業種	産業部門（食料品を加工・製造する業種）	項目数：31個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
		A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	推進体制の整備	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
		A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	11	☐
連鎖化事業者の本部※1	従業員の育成・啓発	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	推進体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
	加盟者との協力体制の整備				
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
	推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	20	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
		C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
	事務用機器	C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
<産業系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
食料品を加工・製造する業種	産業設備全般	CF01	4S（整理・整頓等）の実施	105	☐
	生産設備	CF05	運転方法ルール化と不使用時停止	108	☐
	コンプレッサ設備	CF13	空気系統のエア漏れ確認	116	☐
	給排水設備	CF26	水道メータ等で漏水の有無の点検	95	☐
	作業場の空調設備	CF28	温湿度の適正管理	175	☐
第4 設備保守対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
空調・換気設備	個別方式空調設備	D204	空調フィルターの清掃・点検	132	☐
生産設備		D206	動力伝達部の定期的な点検	136	☐
コンプレッサ設備		D209	空気系統のエア漏れ補修	139	☐
ボイラ設備		D213	蒸気系統の蒸気漏れ補修	142	☐
第5 設備導入対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E201	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E214	高効率パッケージの採用	157	☐
ボイラ設備	系統からの熱損失低減対策	E219	ボイラ等の配管系統の保温の実施	172	☐

■食料品を加工・製造する業種 レベル2

業種	産業部門（食料品を加工・製造する業種）	項目数：31個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A104	取組状況の点検体制の構築	4	☐
		A105	取組内容や点検体制の定期的改善	5	☐
		A108	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
		A114	温暖化対策優良事例の情報収集	14	☐
連鎖化事業者の本部※1	加盟者との協力体制の整備	A305	優良事例の店舗間共有体制の構築	31	☐
		A307	組織横断的な推進体制の整備	8	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	17	☐
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	21	☐
		推進体制の整備	A208	組織横断的な推進体制の整備	8
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	36	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502	ビルで設置する推進体制への協力	40	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103	時間的に詳細に把握	44	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	47	☐
		B107	主要設備の使用状況の把握	48	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105	昼休み時の消灯の実施	54	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113	中間期における外気冷房の実施	62	☐
		C123	温湿度の適正管理	175	☐
	事務用機器	C115	事務用機器を業務終了時に停止	64	☐
<産業系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
食料品を加工・製造する業種	産業設備全般	CF03	装置停止時の補機の停止	214	☐
	コンプレッサ設備	CF15	コンプレッサ吐出圧力の適正化	118	☐
	ボイラ設備	CF20	不要系統への蒸気供給の停止	123	☐
		CF21	暖機運転時間の短縮	124	☐
	作業場の空調設備	CF30	操業状態に応じた運転・停止	211	☐
第4 設備保守対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
空調・換気設備	換気設備	D205	換気フィルターの清掃・点検	133	☐
生産設備		D206	動力伝達部の定期的な点検	136	☐
ボイラ設備		D217	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E214	高効率パッケージの採用	157	☐
ボイラ設備	系統からの熱損失低減対策	E225	蒸気バルブ等の断熱強化	226	☐
変電設備	力率の改善	E239	進相コンデンサ等による力率改善	237	☐

■食料品を加工・製造する業種 レベル3

業種	産業部門（食料品を加工・製造する業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
<産業系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
食料品を加工・製造する業種	生産設備	CF07	効率の良い機器を優先的に使用	110	☐
	コンプレッサ設備	CF16	コンプレッサ運転台数の適正化	119	☐
	ボイラ設備	CF23	蒸気圧力の適正化	126	☐
		CF24	効率的な台数でのボイラ等の運転	94	☐
	作業場の空調設備	CF31	循環風量の適正化	212	☐
第4 設備保守対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
生産設備		D206	動力伝達部の定期的な点検	136	☐
ボイラ設備		D211	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
		D217	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E214	高効率パッケージの採用	157	☐
作業場の空調設備	空調範囲の適正化	E222	局所空調の導入	243	☐
ポンプ設備	負荷に応じた制御の導入	E231	インバータ制御の導入	169	☐

5.2.14 産業部門のその他の業種

■産業部門のその他の業種 レベル 1

業種	産業部門（産業部門のその他の業種）	項目数：31個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	1	☐
		A102	温暖化対策推進担当の配置	2	☐
	推進体制の整備	A103	具体的な取組目標と内容の設定	3	☐
		A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	11	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A301	各店舗の排出量整理・分析・提供	27	☐
	加盟者との協力体制の整備	A304	温暖化対策への協力依頼	30	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A202	温暖化対策推進担当の配置	18	☐
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	19	☐
	推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	20	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等への情報提供体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	33	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	39	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	42	☐
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	43	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	46	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	50	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	55	☐
		C109	空室・不在時等の空調停止	58	☐
	事務用機器	C114	事務用機器を省エネモードに設定	63	☐
<産業系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
産業部門のその他の業種	産業設備全般	C901	4S（整理・整頓等）の実施	105	☐
	生産設備	C904	運転方法ルール化と不使用時停止	108	☐
	コンプレッサ設備	C914	コンプレッサ吐出圧力の適正化	118	☐
	ボイラ設備	C919	不要系統への蒸気供給の停止	123	☐
	給排水設備	C925	水道メータ等で漏水の有無の点検	95	☐
第4 設備保守対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
空調・換気設備 個別方式空調設備	D204	空調フィルターの清掃・点検	132	☐	
生産設備	D206	動力伝達部の定期的な点検	136	☐	
コンプレッサ設備	D209	空気系統のエア漏れ補修	139	☐	
ボイラ設備	D213	蒸気系統の蒸気漏れ補修	142	☐	
第5 設備導入対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内ランプの高効率化	E201	高効率照明ランプの採用（屋内）	144	☐
	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E214	高効率パッケージの採用	157	☐
ボイラ設備	系統からの熱損失低減対策	E219	ボイラ等の配管系統の保温の実施	172	☐

■産業部門のその他の業種 レベル2

業種	産業部門（産業部門のその他の業種）	項目数：31個
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
本社等	推進体制の整備	A104 取組状況の点検体制の構築 4 ☐
		A105 取組内容や点検体制の定期的改善 5 ☐
		A108 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
		A114 温暖化対策優良事例の情報収集 14 ☐
連鎖化事業者の本部※1	加盟者との協力体制の整備	A305 優良事例の店舗間共有体制の構築 31 ☐
		A307 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業の本部に該当する事業者のみが選択します		
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】		
第1 組織体制の整備		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
支店等	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	A201 地球温暖化対策の方針等の設定 17 ☐
	推進体制の整備	A205 取組内容や点検体制の定期的改善 21 ☐
		A208 組織横断的な推進体制の整備 8 ☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A404 テナントへの温暖化対策協力依頼 36 ☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A502 ビルで設置する推進体制への協力 40 ☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します		
第2 エネルギー等の使用状況の把握		
実施主体	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B103 時間的に詳細に把握 44 ☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B106 過去のデータによる傾向の把握 47 ☐
		B107 主要設備の使用状況の把握 48 ☐
第3 運用対策		
<全事業者>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C105 昼休み時の消灯の実施 54 ☐
	執務室、共用部等の空調設備	C113 中間期における外気冷房の実施 62 ☐
		C123 温湿度の適正管理 175 ☐
	事務用機器	C115 事務用機器を業務終了時に停止 64 ☐
<産業系>		
対象事業者	対策項目	対策番号 対策名 個表番号 チェック欄
産業部門のその他の業種	産業設備全般	C902 作業順序に適した機器の配置 106 ☐
	生産設備	C906 効率の良い機器を優先的に使用 110 ☐
	コンプレッサ設備	C915 コンプレッサ運転台数の適正化 119 ☐
	ボイラ設備	C916 燃料使用量等の日常的な記録 120 ☐
	ポンプ設備	C929 ポンプの送水圧等の把握 222 ☐
第4 設備保守対策		
<産業部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明設備	D201 ランプ等の定期的な清掃・交換 129 ☐
空調・換気設備	換気設備	D205 換気フィルターの清掃・点検 133 ☐
生産設備		D206 動力伝達部の定期的な点検 136 ☐
ボイラ設備		D217 ボイラ等の空気比の調整 127 ☐
第5 設備導入対策		
<産業部門>		
対象となる設備	対策番号	対策名 個表番号 チェック欄
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E203 高効率照明器具の採用（屋内） 146 ☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E214 高効率パッケージの採用 157 ☐
ボイラ設備	系統からの熱損失低減対策	E225 蒸気バルブ等の断熱強化 226 ☐
変電設備	力率の改善	E239 進相コンデンサ等による力率改善 237 ☐

■産業部門のその他の業種 レベル3

業種	産業部門（産業部門のその他の業種）	項目数：30個			
【地球温暖化対策報告書様式（その1）本社等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
本社等	推進体制の整備	A106	本社等による支店の支援	6	☐
		A107	排出状況の整理・分析・提供	7	☐
	外部の専門家との連携	A110	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	13	☐
連鎖化事業者の本部※1	推進体制の整備	A302	スーパーバイザーによる点検実施	28	☐
	加盟者との協力体制の整備	A306	優良店舗の認定制度の導入	32	☐
注1：※1 の項目は、連鎖化事業者の本部に該当する事業者のみが選択します					
【地球温暖化対策報告書様式（その2）各事業所等が記載すべき実施状況】					
第1 組織体制の整備					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
支店等	推進体制の整備	A207	排出状況の整理・分析・提供	23	☐
	外部の専門家との連携	A210	外部専門家への相談依頼の実施	10	☐
	従業員の育成・啓発	A211	所内で温暖化対策情報の提供	24	☐
テナントビルの所有者等※2	テナント等との協力体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備	37	☐
テナント等※3	所有者等との協力体制の整備	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施	41	☐
注2：※2、※3 の項目は、テナントビルの所有者またはテナント等に該当する事業所のみが選択します					
第2 エネルギー等の使用状況の把握					
実施主体	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
事業所等	エネルギー等の使用量の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	45	☐
	エネルギー等の使用状況の把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	49	☐
第3 運用対策					
<全事業者>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
全業種	執務室、共用部等の照明設備	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	52	☐
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	61	☐
	執務室、共用部等の空調設備	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	176	☐
	事務用機器	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	178	☐
<産業系>					
対象事業者	対策項目	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄
産業部門のその他の業種	生産設備	C903	機器特性把握と仕様のリスト化	107	☐
		C905	生産設備電流電圧の日常的な記録	109	☐
		C907	効率的な台数での生産設備の運転	111	☐
	受変電設備	C908	受電力率の把握・記録	112	☐
	ポンプ設備	C930	ポンプの送水圧力・流量の適正化	223	☐
第4 設備保守対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明設備	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換	129	☐
生産設備		D206	動力伝達部の定期的な点検	136	☐
ボイラ設備		D211	ボイラ等の定期点検の実施	134	☐
		D217	ボイラ等の空気比の調整	127	☐
第5 設備導入対策					
<産業部門>					
対象となる設備	対策番号	対策名	個表番号	チェック欄	
照明設備	屋内照明器具の高効率化	E203	高効率照明器具の採用（屋内）	146	☐
空調設備（個別方式）	空調機の効率化	E214	高効率パッケージの採用	157	☐
作業場の空調設備	空調範囲の適正化	E222	局所空調の導入	243	☐
ポンプ設備	負荷に応じた制御の導入	E231	インバータ制御の導入	169	☐

5.3 地球温暖化対策メニュー（個表）
